

第 4 編

国際化の推進に向けた取組（2023 年度事業概要）

国際化の推進に向けた取り組み 事業一覧（2023 年度）	17
1 国際交流	17
(1) 姉妹・友好都市交流	17
ア 姉妹・友好都市紹介（概況・沿革）	17
（参考）札幌姉妹都市協会の概要	20
（参考）市民が支える国際交流	22
イ 2023 年度事業概要	25
ウ 姉妹・友好都市盟約書、交流確認書	27
（参考）主な姉妹・友好提携団体（姉妹・友好都市分）	32
(2) 世界冬の都市市長会	36
ア 沿革	36
イ 会員都市	36
ウ 事業概要	36
エ 2023 年度実施内容	38
オ 会議開催実績	38
(3) その他交流	41
ア 2023 年度事業概要	41
イ その他の都市との交流確認書	48
2 多文化共生	51
(1) 在住外国人の現況	51
(2) 生活支援・コミュニケーション支援	51
ア 2023 年度事業概要	51
(3) 国際感覚豊かな人材の育成・活用、異文化理解の促進	58
ア 2023 年度事業概要	58
3 国際戦略	59
(1) 経済の国際化	59
ア 2023 年度事業概要	59
(2) 観光 PR	62
ア 2023 年度事業概要	62
(3) MICE	65
ア 2023 年度事業概要	65
(4) シティプロモート	68
ア 2023 年度事業概要	68
4 国際協力	70
(1) 研修員の受入	70
(2) 職員の海外派遣	73
5 国際施策の推進に関する出版物等	74
(1) 国際施策関連出版物（日本語）	74
(2) 外国語による生活・市政情報	75
(3) 外国語によるホームページ	81

■国際化の推進に向けた取り組み 事業一覧（2023 年度（令和 5 年度））

1 国際交流

事業名	担当課	頁
(1) 姉妹・友好都市交流		
姉妹・友好都市交流関係事業	総) 交流課	25
札幌市立高校生・ポートランド市グラント高校生交流事業	教) 教育課程担当課	26
(2) 世界冬の都市市長会		
世界冬の都市市長会関連事業	総) 交流課	36
(3) その他交流		
札幌国際交流館国際交流事業	総) 交流課	41
札幌留学生交流センター地域交流事業	〃	43
札幌市グリーティングカード制作	〃	44
2024 さっぽろ雪まつり歓迎レセプション	総) 秘書課	44
語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）	総) 交流課 教) 教育推進課	45
創造都市ネットワーク活用事業	市) 文化振興課	45
国際招へいプログラム	〃	46
さっぽろアスリートサポート事業(スポーツ大会出場及び強化合宿参加助成事業（国際の部）)	ス) スポーツ振興担当課	46
シンガポール少年少女交流事業	子) 子どもの権利推進課	47
JICA 草の根技術協力事業「ネパール国ポカラ市給配水管理業務の体系化を目指した技術協力事業」	水) 企画課	47

2 多文化共生

事業名	担当課	頁
(1) 在住外国人の現況	総) 交流課	51
(2) 生活支援・コミュニケーション支援		
多文化共生推進事業	総) 交流課	51
札幌市公式ホームページの「自動翻訳機能」導入による多言語対応	総) 広報課	52
札幌市公式 LINE 情報配信システムの多言語対応	〃	53
札幌市コールセンター運営業務における多言語対応	総) 市民の声を聞く課	53
地域連携促進事業	市) 市民自治推進課	53
クラウド型収蔵品管理システム 「ポケット学芸員」運用	市) アイヌ施策課	54
外国人患者受入れ医療機関確保事業	保) 医療政策課	54
救急安心センター推進事業（多言語対応）	〃	55
医療英語・医療通訳セミナーの実施	〃	55
住所異動・マイナンバーカード窓口における外国人対応の円滑化	豊) 戸籍住民課	56
留学生支援団体への自転車譲渡事業	建) 道路管理課	56
就学相談コーナーの設置	教) 学びの支援担当課	56
札幌市帰国・外国人児童生徒教育支援事業	教) 教育課程担当課	57
文化・社会・教育施設等の留学生に対する無料開放等	各対象施設担当課	57
(3) 国際感覚豊かな人材の育成・活用、異文化理解の促進		
札幌市外国人学校補助金交付事業	総) 交流課	58
白石区子どもワンダーランド	白) 地域振興課	58
さっぽろ市民カレッジ	教) 生涯学習推進課	58

3 国際戦略

事業名	担当課	頁
(1) 経済の国際化		
食の輸出拡大支援事業	経) 産業振興課	59
海外展開支援事業	経) 経済戦略推進課	59
海外投資誘致事業	〃	60
Hokkaido Innovation Week の開催	経) イノベーション推進課	60
札幌国際短編映画祭 (SAPPORO ショートフェスト)	〃	61
(2) 観光 PR		
アジア向けプロモーション	経) 観光・MICE 推進課	62
欧米豪向けプロモーション	〃	63
全市場向けプロモーション	〃	64
(3) MICE		
第 44 回札幌国際スキーマラソン大会	ス) スポーツ振興担当課	65
宮様スキー大会国際競技会	〃	65
2024FIS パラアルペンスキーワールドカップ札幌大会	〃	65
どうぎんカーリングクラシック 2023 車いすカーリング国際親善試合	〃	66
さっぽろグローバルスポーツコミッション事業	〃	66
冬季オリンピック・パラリンピック招致	ス) 調整課	67
(4) シティプロモート		
自治体国際化協会 (クレア) ロンドン事務所による Instagram 「Local eyes Japan」を活用したシティプロモート	総) 広報課	68
公益財団法人フォーリン・プレスセンターへの賛助会員登録および同センターの活用	〃	68
国際芸術祭事業	市) 国際芸術祭担当課	69

4 国際協力

事業名	担当課	頁
(1) 研修員の受入		
JICA 研修員の受入	各研修員受入担当課	70
(2) 職員の海外派遣		
職員海外派遣事業	各職員派遣担当課	73

1 国際交流

(1) 姉妹・友好都市交流

ア 姉妹・友好都市紹介（概況・沿革）



(ア) ポートランド市（アメリカ合衆国・オレゴン州）との交流

「バラの都市」という愛称を持つポートランド市は、オレゴン州北西部に位置する全米でも指折りの美しい都市である。街はウィラメット川とコロンビア川の合流点に広がり、人口は約 63 万人（2023 年（令和 5 年）現在）で、アメリカ西海岸の貿易、商業の重要な拠点都市となっている。

本市とはほぼ同緯度に位置しており、地勢、風土なども似通っているほか、オレゴン州、北海道それぞれにおける産業、経済、文化の中心地となっているなど共通点が多かったことが契機となり、1959 年（昭和 34 年）11 月 17 日、両市の姉妹都市提携が実現した。

市民が中心となって進められてきた両市の交流はさまざまな分野にわたり、これまでに本市のおよそ 100 団体が姉妹団体提携を結んでいる。このような市民同士による活発な「草の根交流」は、ポートランドで交流の中心となっているポートランド・札幌姉妹都市協会が 2004 年（平成 16 年）に日本政府から「日米交流 150 周年記念外務大臣表彰」を授与されるなど、国際的にも高い評価を与えられている。

2019 年（令和元年）の姉妹都市提携 60 周年の際には、6 月に札幌市長を団長とする記念訪問団がポートランドを訪問し、10 月にはポートランド市長を団長とする訪問団が来訪し、交流を深めた。

2023 年（令和 5 年）には、翌年の姉妹都市提携 65 周年に向け、「札幌・ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念プレ事業」として、まちづくりに関するフォーラムや高校生の交流など、機運醸成に向けた取組を実施した。

(イ) ミュンヘン市（ドイツ連邦共和国）との交流

ミュンヘン市はドイツ南部にあるバイエルン州の州都で、人口はおよそ 159 万人（2024 年（令和 6 年）現在）。ベルリン、ハンプルクに次ぐドイツ第 3 の都市である。バイエルン王国ヴィッテルスバッハ家 800 年の王城の地でもある街の中心には、ドナウ川の支流イザール川が流れ、その両岸に中世から続く古い街並みが広がっている。

ミュンヘン市は、ヨーロッパ経済の中心地の一つとして機械工業などが世界的にも知られているほか、地理的にもヨーロッパの中心であることを活かし、さまざまな分野の国際会議、国際見本市が数多く開催されている。

1966 年（昭和 41 年）、両市が夏と冬のオリンピックの開催都市に決定したことを契機に人の往来が頻繁になり、雪まつりにはミュンヘン市長からメッセージが送られるなど実質的な交流が盛んになったことから、1972 年（昭和 47 年）8 月 28 日、夏季オリンピック開催中のミュンヘン市において、両市長が両市の密接な連携と、あらゆる分野での交流を進めることを誓う提携盟約書に署名、ここに両市の姉妹都市提携が実現した。

これまで両市の交流は、芸術、文化、スポーツなどの分野で活発に展開されてきたが、姉妹都市提携 30 周年にあたる 2002 年(平成 14 年)にスタートした「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」は好評を博し、ドイツ文化を紹介する初冬季札幌の風物詩として市民に定着している。

姉妹都市提携 50 周年を迎えた 2022 年(令和 4 年)は、記念ロゴマークを作成し、両市で関連事業を実施したほか、9 月には札幌市長がミュンヘン市を訪問し、関係先の視察、企業訪問を通じて交流や意見交換を行った。一方、同年にミュンヘン市訪問団の受入れも予定していたが、ドイツ国内の新型コロナ情勢の悪化を受けて延期。令和 5 年 6 月に受入れが実現し、記念祝賀会や市内施設の視察等を行った。

(ウ) 瀋陽市(中華人民共和国)との交流

瀋陽市は中国東北地方の南部、遼寧省のほぼ中心に位置する同省の省都で、人口 920 万人(2024 年(令和 6 年)現在)を数える都市である。非常に長い歴史をもっており、今から 7,200 年以上も前の人類の生活の跡が、新樂遺跡に残されている。

現代では、瀋陽市は機械工業を中心とした中国有数の重工業都市に発展しており、ハイテク産業やサービス産業などの分野においても成長を図るなど、中国東北地方の政治、経済、文化、交通の中枢都市となっている。

瀋陽市と本市との友好提携は、1979 年(昭和 54 年)5 月の「中日友好の船」の来札が契機となって進められたものである。1972 年(昭和 47 年)の日中国交正常化以来、日中両国で地域間友好提携への機運が盛り上がる中、来札した「中日友好の船」一行は、瀋陽市と札幌市の友好提携を提案し、翌 1980 年(昭和 55 年)11 月 18 日、瀋陽市長一行を札幌に迎えて、両国の友好関係と世界平和への貢献を願った友好都市の議定書を交わすことにより両市の友好都市提携が実現した。

両市は、経済、科学技術、文化、スポーツなど多彩な交流を進めており、特に技術交流においては、1980 年代から 1990 年代にかけて、医療、上水道、都市建設などの分野で研修生の受入や技術者の派遣を行うなど特色ある交流を展開してきた。

2015 年(平成 27 年)には、瀋陽市人民代表大会常務委員会副主任を団長とする訪問団が来札、本市建設局と瀋陽市都市建設管理局が友好合作協議書の調印、札幌開成中等教育学校と瀋陽市渾南区第二中学校が友好校提携の調印など、行政、経済、教育、芸術といった分野での交流が行われた。また、札幌市長ら訪問団も瀋陽を訪問し、現地企業との交流や両市の将来を担う青少年の交流の重要性を改めて認識する機会となった。

(エ) ノボシビルスク市(ロシア連邦)との交流

ノボシビルスク市は、ノボシビルスク州の州都であり、シベリア連邦管区の中心都市である。また、現代ロシアにおける芸術、文化、学術の一大中心地として発展を続ける街である。街の起源は 1893 年のシベリア鉄道オビ川鉄橋建設に溯り、現在の人口はおおよそ 163.5 万人。世界で最も人口が急成長した都市としても知られている。

本市との交流は、1974 年(昭和 49 年)に開催された「大シベリア博」へのノボシビルスク市の参加を契機に始まったもので、以後 16 年間にわたって、両市長の相互訪問を始め、市民レベルにあっても芸術、文化、スポーツ、青少年交流など多くの分野で着実に友好関係が育まれてきた。このような市民交流の活発化を背景に 1990 年(平成 2 年)6 月 13 日、両市の市長が姉妹都市として提携することを盟約し、ここに両市の姉妹都市提携が実現した。

ノボシビルスク市は旧ソ連時代から音楽、バレエ、演劇など優れた芸術・文化を誇っており、この特色を活かして本市との間でも多彩な芸術・文化交流が繰り広げられているほか、姉妹都市提携と同時に交わされた「札幌市とノボシビルスク市との交流に関する覚書」に基づき、学術、青少年、スポーツ、経済などの分野でも様々な交流が展開されている。

姉妹都市提携 25 周年を迎えた 2015 年(平成 27 年)にはノボシビルスク市から市長訪問団が来札、2016 年(平成 28 年)から 2018 年(平成 30 年)は札幌市から訪問団が現地を訪問し、交流を深めている。

(オ) 大田(テジョン)広域市(大韓民国)との交流

大田市はソウルから KTX(韓国高速鉄道)で 1 時間ほどの距離にあり、大韓民国の中心部に位置する、人口約 144 万人(2024 年(令和 6 年)現在)を擁する韓国 5 番目の都市で、韓国一の「科学技術都市」として発展を続ける若い都市である。市内には宇宙開発や生命工学、電子などの政府や民間の研究機関が集積し「韓国のシリコンバレー」とも呼ばれている。

2003年(平成15年)6月、姉妹都市であるノボシビルスク市の開基110周年記念事業出席のため、同市を訪問した当時の札幌市助役と、同じく招待を受け記念事業に出席していた大田市長が会談を行い、その中で大田市側より札幌市との姉妹都市提携が提案された。その後、両市間では、経済や青少年などの分野を中心にさまざまな交流が行われ、友好関係が着実に深まっていた。

そのような中で札幌市では姉妹都市提携の気運が徐々に盛り上がりを見せ、市民や関係団体から大田市との姉妹都市提携の早期実現を求める要望書が提出された。

その後、大田市では2010年(平成22年)7月、札幌市では、同年9月の市議会においてそれぞれ姉妹都市提携の決議がなされ、2010年(平成22年)10月22日、札幌市において姉妹都市提携の盟約書が取り交わされた。

両市の姉妹都市提携にあわせて、様々な関係団体同士の交流覚書の調印が行われ、さらに姉妹都市提携を記念して、両市の動物園で動物の交換も行われた。

2021年(令和3年)からは、毎年、教育委員会と連携して「姉妹都市オンライン学校交流事業」を実施している。また、雪まつり開催期間にあわせて大田市の行政訪問団が札幌市を訪れるなどして交流を深めている。

【 姉妹・友好都市の概況 】

ポートランド (アメリカ合衆国・オレゴン州) 1959年(昭和34年)11月17日提携 位置：北緯45度31分 西経122度40分 人口：63万人(2023年) 面積：346 km² 気候：夏は快晴が続く。冬季に雨が 多いが、雪はほとんど降らな い。	ミュンヘン (ドイツ連邦共和国・バイエルン州) 1972年(昭和47年)8月28日提携 位置：北緯48度8分 東経11度34分 人口：159万人(2024年) 面積：310 km² 気候：内陸に位置しているため、四 季がはっきりしているが、温 和な気候地帯に属しており、 冬は比較的雪が少ない。	瀋陽 (中華人民共和国・遼寧省) 1980年(昭和55年)11月18日提携 位置：北緯41度8分 東経123度4分 人口：920万人(2024年) 面積：12,942km² 気候：季節風の影響を受けるモン スーン型大陸性気候のため、四 季がはっきりしているが、乾 燥しており、雪は少ない。
ノボシビルスク (ロシア連邦・ノボシビルスク州) 1990年(平成2年)6月13日提携 位置：北緯55度1分 東経82度55分 人口：163.5万人(2023年) 面積：502 km² 気候：厳しい大陸性気候で、夏は乾 燥し、30℃を越える暑い日も ある。冬は比較的雪が少ない が寒さが厳しい。	大田(テジョン) (大韓民国) 2010年(平成22年)10月22日提携 位置：北緯36度33分 東経127度41分 人口：144万人(2024年) 面積：540km² 気候：四季が明瞭で温暖な気候。夏 に降水が多く、冬は乾燥して いる。	札幌 位置：北緯43度3分 東経141度21分 人口：197.1万人(2023年8月) 面積：1,121 km²

(参考) 札幌姉妹都市協会の概要

札幌市の姉妹都市交流は、1959 年（昭和 34 年）のポートランド市との提携を皮切りに、1972 年（昭和 47 年）にはミュンヘン市、1980 年（昭和 55 年）には瀋陽市と姉妹・友好都市提携を結び、本市とこれら 3 都市間の交流の発展、拡大に伴い、市民の間に複合的な姉妹都市交流事業の展開や総合情報の提供を望む声が強くなってきたことから、1986 年（昭和 61 年）4 月 23 日、本市と 3 都市との間の教育、科学、芸術、体育、経済、技術の分野で総合的な交流を図る事業の推進と姉妹・友好都市間相互の友好親善に寄与することを目的に、札幌姉妹都市協会（事務局 国際部）が設立された。その後、1974 年（昭和 49 年）以降友好関係を進めていたノボシビルスク市と 1990 年（平成 2 年）に、2010 年（平成 22 年）に大田（テジョン）広域市と姉妹都市提携を結び、現在、本市はこの 5 つの都市と姉妹・友好都市交流を行っている。

札幌姉妹都市協会は、市民レベルでより活発な交流を推進するため、1997 年（平成 9 年）に（財）札幌国際プラザに事務局を移管。2012 年（平成 24 年）4 月には、（公財）札幌国際プラザとの一体的な連携により一層効率的・効果的な姉妹都市交流事業を促進していくため、組織の改編を行った。現在、姉妹都市協会は、（公財）札幌国際プラザと一体となって事業を行い、各団体における新たな姉妹都市交流を促進するための情報交換や、事業実施の際の開催支援や協力等についての連絡協議の場として活動している。

【2023 年度（令和 5 年度）の主な事業】

ア 友好交流事業

(ア) 姉妹都市交流事業

- ・ポートランド・グラント高校生夏期研修プログラム
- ・レッツトークイングリッシュ高校生スペシャル 2023
- ・札幌 - ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念「レッツトークイングリッシュ学生スペシャル 2024」
- ・札幌市 - ミュンヘン市姉妹都市提携 50 周年記念事業
- ・天神山アートスタジオ国際 AIR プログラム アーティスト招聘事業
- ・ドイツ語を楽しむ会
- ・韓国を知るセミナー
- ・中国を知るセミナー
- ・カルチャーナイト 2023「クイズで世界をまわってみよう」

(イ) 弁論・暗唱大会の開催

- ・全日本中国語スピーチコンテスト北海道大会

イ 姉妹団体の提携促進と活動支援

ウ 人材育成事業

エ 広報事業

(ア) 札幌姉妹都市協会 Facebook 等の SNS による情報発信

(イ) 姉妹都市パネル展

- ・世界ふれあいひろば 2023

(ウ) 子ども向け姉妹都市情報発信事業

・2023 年度（令和 5 年度）姉妹・友好都市交流活動

【2023 年（令和 5 年）】

6 月	■ 令和 5 年度札幌姉妹都市協会総会開催 ■ 札幌市・ミュンヘン市姉妹都市提携 50 周年記念事業ミュンヘン市訪問団への日本文化体験プログラム ■ 札幌市・ミュンヘン市姉妹都市提携 50 周年記念事業「50 周年記念祝賀会」
7 月	■ ポートランド・グラント高校生夏期研修プログラム受入 ■ レッツトークイングリッシュ高校生スペシャル ■ カルチャーナイト 2023「クイズで世界をまわってみよう」
8 月	■ 札幌・ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念プレ事業 共創フォーラム
9 月	■ 第 44 回韓国を知るセミナー「ソウルだけではない！韓国の隠れ名所」 ■ 世界ふれあいひろば 2023
10 月	■ 2023 年度「全日本中国語スピーチコンテスト」北海道大会 ■ 札幌・ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念プレ事業 北海道陶芸展 55 周年記念「陶・新時代～アメリカ・オレゴン陶芸家協会を迎えて～」
12 月	■ 札幌・ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念ロゴマーク制作事業

【2024 年（令和 6 年）】

1 月	■ 天神山アートスタジオ国際 AIR プログラム アーティスト招聘事業「アートマテリアルのリサイクルセンター「周活/しゅうかつ」のワークインプログラム」開設、treibgut(トライブグット)トークイベント
2 月	■ 札幌 - ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念「レッツトークイングリッシュ学生スペシャル 2024」
3 月	■ 第 38 回中国を知るセミナー「春節に食べる餃子にはコインを入れる？！国際交流員が教える中国の祝日の秘話！」 ■ 第 12 回ドイツ語を楽しむ会「私にとってはソーセージだ！？ドイツ語のことわざから知るドイツの文化」

(参考) 市民が支える国際交流

1 札幌国際プラザ・ホームステイ制度

日本の家庭、日本人の暮らしを体験したい外国人を一般家庭に受入れ、宿泊させる制度で、1968年（昭和43年）、全国に先駆けて発足した。2023年度末（令和5年度末）現在、ホームステイ家庭として登録されている家庭数は70家庭で、本制度が発足して以降、利用した外国人の数は145カ国・地域、8,087人に上っている。

1986年（昭和61年）には制度の充実と登録家庭の自主的活動を促すために「札幌市ホームステイ七区連絡会」（1989年（平成元年）に札幌市ホームステイ協会、さらに1991年（平成3年）には札幌ホームステイ協会に名称変更。）が組織され、活動領域を広げた。

【制度利用外国人数】

区 分		2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2023 年度
性 別	男性	29	16	20	24	18
	女性	51	49	36	29	25
地 域 別	アジア	68	45	27	27	28
	ヨーロッパ	6	7	8	0	3
	ロシア・NIS 諸国	2	5	4	0	0
	北アメリカ	1	2	13	21	12
	中央・南アメリカ	2	5	2	1	0
	オセアニア	0	0	0	0	0
	アフリカ	1	1	2	4	0
	受入人数	80	65	56	53	43
合 計	利用国・地域	15 ヶ国・地域	22 ヶ国・地域	17 ヶ国・地域	10 ヶ国・地域	9 ヶ国
	受入家庭数	70	51	53	40	15
	登録家庭数	126	111	124	109	70

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020 年度（令和 2 年度）から 2022 年度（令和 4 年度）は活動休止

2 札幌国際プラザ・外国語ボランティア制度

国際交流を進めるうえでの「言葉の壁」を解消して、多様な交流活動を支援することを目的に、1977年(昭和52年)にスタートした登録制度。国際交流、コンベンションを支える大きな力として、言葉だけにとどまらない「おもてなし」の心遣いが高い評価を得ている。また、在住外国人がより暮らしやすい街にするための活動も行っている。また、登録者が自主的な活動を行うために「外国語ボランティアネットワーク」が組織されている。

【ボランティア登録者内訳】

言語	2018年度	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度
英語	452	442	252	175	245
中国語	52	50	31	21	36
ドイツ語	24	23	12	10	15
韓国語	23	32	10	8	15
ロシア語	16	16	10	7	8
フランス語	22	24	11	8	9
イタリア語	9	8	2	1	2
スペイン語	19	17	5	6	6
広東語	—	—	—	—	—
インドネシア語	—	—	—	1	2
ベトナム語	—	1	—	—	—
フィリピン語	3	2	—	—	—
ポルトガル語	—	—	—	—	—
マレー語	1	1	1	1	—
タイ語	4	2	1	1	1
フィンランド語	1	1	—	—	—
台湾語	—	—	—	—	—
タガログ語	—	—	—	—	—
スウェーデン語	—	—	—	—	—
スワヒリ語	—	—	—	—	—
ウズベク語	1	1	—	—	—
ウルドゥー語	—	—	—	—	—
デンマーク語	—	—	—	—	—
オランダ語	—	—	—	—	—
合計 登録言語数	13ヶ国語	14ヶ国語	10ヶ国語	11ヶ国語	10ヶ国語
登録人数	627人	620人	335人	239人	339人
(実人数)	(実人数522人)	(実人数500人)	(実人数287人)	(実人数204人)	(実人数288人)

※2020年度(令和2年度)は、活動休止により外国語ボランティアネットワークの一部役員のみ登録更新を行ったため、登録者内訳は非掲載。

3 日本文化体験ボランティア制度

国際学会などのコンベンションや国際交流プログラムなどで来札した外国人の方々に、日本文化の一端を実際に体験してもらうために、旧札幌天神山国際ハウスを拠点として平成4年に設立。平成20年に札幌国際プラザへと移管した。体験の種類は茶道、華道、書道、着付け、折り紙など。日本文化体験は外国人来札者が日本文化を通して地元市民と触れ合える場として大変好評を得ている。会員数は41名（2024年（令和6年）3月末現在）

【ボランティア派遣実績】

種 目	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2023 年度
茶道	24	14	54	24
華道	0	2	0	2
書道	0	4	3	0
着付け	47	58	53	16
折り紙	2	1	1	0
合計派遣人数（延べ）	73 人	79 人	111 人	42 人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020 年度（令和2 年度）から 2022 年度（令和4 年度）は活動休止

イ 2023 年度（令和 5 年度）事業概要

事業名	姉妹・友好都市交流関係事業	総務局 国際部 交流課
趣旨・概要	札幌の 5 つの姉妹・友好都市との交流を通して、市民の国際理解の促進、札幌市の国際化の推進並びに海外諸都市とのネットワーク強化を図る。	
2023 年度 事業実績	1. 札幌・ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念プレ事業 (1) レッツトークイングリッシュ高校生スペシャル（令和 5 年 7 月） 夏季研修で札幌を訪れているポートランド市の日本語を学ぶ高校生（グラント高校生）20 名と札幌圏の高校生 34 名が参加、日米の文化の違いや共通点について一緒に考えることで相互理解を促し、姉妹都市交流の今後について考える機会とした。 (2) 共創フォーラム（令和 5 年 8 月） ポートランド在住の建築家をゲストに招き、65 周年に向けた機運醸成と両市の公民連携まちづくりに関する情報交流及び共有の機会としてフォーラムを実施。 (3) 北海道陶芸展 55 周年記念「陶・新時代」（令和 5 年 10 月） ポートランド市のオレゴン陶芸家協会が、北海道陶芸会の 55 周年記念展への参加を目的に来札、展覧会への作品出品のほか、デモンストレーションやワークショップなどを実施し、交流を深めた。 (4) 札幌・ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念ロゴマーク制作事業 65 周年を記念する統一的なロゴマークを制作するにあたり、ポートランドの美術系大学 PNCA（Pacific Northwest College of Art）と協定を結び、交流している札幌市立大学デザイン学部の学生にロゴマークデザインの募集を実施。 2. ミュンヘン市との交流 (1) ミュンヘン市長訪問団受入 札幌・ミュンヘン市は姉妹都市提携 50 周年を令和 4 年に迎えた。1972 年の姉妹都市提携以降、5 年毎に相互交流を行う記念事業を実施している。令和 4 年には本市市長訪問団がミュンヘン市を訪問。ドイツ国内の新型コロナ情勢の悪化を受けてミュンヘン市訪問団の受入は延期となっていたところ、令和 5 年 6 月に受入れが実現し、姉妹都市提携 50 周年の記念事業として記念祝賀会や YOSAKOI ソーラン祭りの鑑賞、市内施設等の視察を実施した。 ① 実施日：6 月 7 日～10 日 ② 人数：14 名 (2) 市長訪問団のミュンヘン市への訪問 ミュンヘン市のまちづくりの事例の視察・意見交換、ミュンヘン市内で行われるプロダクトロイカ 2023 への出展等を行った。 ① 実施日：11 月 12 日～19 日 ② 人数：8 名 3. 大田広域市との交流 (1) 姉妹都市オンライン学校交流事業 学校や観光地、文化について紹介し合い、活発な質疑応答や意見交換を行った。 ・札幌市立澄川西小学校×大田広域市屯山（ドゥンサン）小学校 ・札幌市立明園中学校×大田広域市新灘津（シントンジン）中学校 ・札幌開成中等教育学校×大田広域市青蘭（チョンラン）女子高校 ・札幌市立大倉山小学校×大田広域市鶴下（ハッカ）小学校 (2) 市長訪問団の大田市への訪問（令和 5 年 8 月） 0 時祭りの開催に合わせて、市長訪問団が大田市を訪問した。 (3) 大田広域市長訪問団受入（令和 6 年 2 月） さっぽろ雪まつりの開催に合わせて、大田広域市の市長訪問団が来札した。	

事業名	札幌市立高校生・ポートランド市グラント高校生交流事業		教育委員会 学校教育部 教育課程担当課
趣旨・概要	○ポートランド市グラント高校の生徒との交流を通して、次のことを目指す。 ・グラント高校から各市立高校に生徒を招へいし、授業や学校行事を経験してもらうなどして、異文化を理解し尊重する態度を養うとともに、相互の交流を図る。 ・各市立高校からグラント高校に生徒を派遣し、ホームステイを通じてアメリカの人々の日常生活を知ることにより、自国の文化と伝統を大切にするとともに、世界の人々の多様な生活や文化を理解し尊重する態度を養う。 ・札幌市平和都市宣言の趣旨を踏まえ、世界の平和に貢献し、国際社会で信頼と尊敬を得るにふさわしい資質を身に付ける。 ・国際化の進展に伴い、豊かな国際感覚を育むとともに、国際化に柔軟に対応できる人間を目指す。 ・英語を中心とした実践的なコミュニケーション能力及び自己表現能力の育成を目指す。		
2023 年度 事業実績	実施日	6月30日～7月18日	
	対象国	アメリカ合衆国・ポートランド市	
	参加人数	21名（うち引率1名）	
	事業内容	○これまでの派遣研修内容（参考） ・グラント高校訪問（授業体験：日本語・日本文化クラスに参加） ・日系レガシーセンター見学 ・Mt. テーバー中学校訪問（交流） ・リッチモンド小学校訪問（交流） ・ポートランド市内研修 ・ボランティア体験（バーチコミュニティセンター） ・ポートランド日本庭園見学 ・ポートランド領事館、ポートランド市役所及びポートランド州立大学訪問	

ウ 姉妹・友好都市盟約書、交流確認書

【盟約書】

ポートランド市と札幌市との間における 姉妹都市提携に関する盟約

アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市と日本国北海道札幌市とは、相互に産業、経済、文化の交流を図るとともに両市の友好を深めることを念願し、併せてアメリカ合衆国と日本国との親善を促進し、ひいてはこれが世界平和に貢献する所以であることを確信し、ここに両市が姉妹都市として提携することを盟約する。

1959 年 11 月 17 日

アメリカ合衆国オレゴン州
ポートランド市長 **Terry D SCHRUNK**
テリー D シュランク

日本国北海道
札幌市長 **原 田 興 作**

札幌市とミュンヘン市との 姉妹都市提携に関する盟約書

オリンピック大会の開催によって結ばれた日本国北海道札幌市とドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘン市は、
たがいにより自由に密接な関係を保ち、
あらゆる分野で交流をすすめ、
親善のきずなを強め、
国際間の平和と向上に寄与することを
両市を代表する市長の名において
ここに厳粛に宣言する。

ミュンヘンにて 1972 年 8 月 28 日

ミュンヘン市長 **Georg KRONAWITTER**
ゲオルク クローナヴィッター

札幌市長 **板 垣 武 四**

日本国札幌市と中華人民共和国瀋陽市 との友好都市提携に関する議定書

日本国札幌市と中華人民共和国瀋陽市は日中平和友好条約の精神に基づき、
経済、科学技術、文化等各分野の交流を進め
信頼と理解を深めて親善のきずなを強め
子子孫孫にわたり、ますますこれを発展させ
両国間の友好関係を促進しさらに世界の平和に
貢献することを念願して、ここに友好都市の議定
書を交すものである。

1980 年 11 月 18 日

瀋 陽 市 長 **宋 光**
札 幌 市 長 **板 垣 武 四**

札幌市とノボシビルスク市との間における 姉妹都市提携に関する盟約

日本国北海道札幌市とソビエト社会主義共和国連邦ロシア共和国ノボシビルスク市は、
相互に文化、学術、経済等の分野で交流を図り
両市の友好と相互理解を深め、併せて両国の
友好親善を促進することを念願し、ひいては
これが世界平和に貢献する所以であることを
確信し、ここに両市が姉妹都市として提携す
ることを盟約する。

1990 年 6 月 13 日

日本国北海道
札幌市長 **板 垣 武 四**
ソビエト社会主義共和国連邦
ロシア共和国
ノボシビルスク市長
Иван Иванович ИНДИНОК
イワン イワノビッチ インディノク

日本国札幌市と大韓民国大田広域市の 姉妹都市提携に関する盟約書

日本国札幌市と大韓民国大田広域市は、文化芸術、スポーツ、学術、青少年、経済など幅広い分野における市民主体の交流をすすめ、相互理解と信頼を深め、両市民の恒久的な友好関係を樹立するとともに、両市の発展と、日韓両国の平和と繁栄、ひいては世界の平和と発展に資することを念願し、ここに札幌市と大田広域市の姉妹都市の提携を盟約する。

2010 年 10 月 22 日

大田広域市長

廉 弘 喆

札幌市長

上 田 文 雄

札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市及び瀋陽市、 国際親善ジュニアスポーツ交流代表者会議に関する確認書

札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市及び瀋陽市の代表者は、スポーツを通じ、青少年の健やかな育成を目指すと共に、青少年の諸外国での見聞を広め、重ねて4都市間の親善を図るため、1984年10月6日、札幌市で会合し下記事項について確認をした。

記

1. 1985年に関する交流の方針

- (1) 開催期日 瀋陽市で開催される第2回北方都市会議の会期（1985年9月19日～22日）を目どとする。
- (2) 開催都市 瀋陽市
- (3) 参加対象 札幌市・ポートランド市・ミュンヘン市・瀋陽市
- (4) 競技種目 12歳～14歳の少年（男子）
- (5) 競技種目 サッカー
- (6) 費用 瀋陽市までの旅費は参加都市の負担とする。
滞在費は瀋陽市で負担する。
- (7) 役員・選手 20人以内とする。

2. 1986年以降に関する交流の方針

- (1) 開催期日 毎年開催することとし、その前年の開催都市において、各都市代表者により協議する。
- (2) 開催都市 別表のとおり
- (3) 参加対象 札幌市・ポートランド市・ミュンヘン市・瀋陽市
- (4) 競技種目 12歳～14歳の中学生レベルで位置づける。
- (5) 競技種目 その前年の開催都市において、各都市代表者により協議する。
- (6) 費用 開催市までの旅費は参加都市の負担とする。
滞在費は開催市で負担する。
- (7) 役員・選手 20人以内とする。

3. その他

上記事項を各都市で検討し、結果を札幌市に報告することとする。

本書は、日本語、英語、中国語で作成する。

1984年10月7日

札幌市教育長
遠藤高志

ポートランド市カスケード・ラン・オフ理事
Patricia A. KNOLL
パトリシア A ノール

ミュンヘン市スポーツ局長
E. KUPNER
エルヴィン・クフナー

瀋陽市体育委員会秘書長
呂順興

※ノボシビルスク市は、1991年に加入

1986年6月28日
於 札幌市

経済、技術、文化の分野における友好交流及び協力

札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市及び瀋陽市の市長と代表は1986年6月28日札幌市で会し、友好と平等互惠の基盤に立って、4市間の経済、科学技術、芸術、体育、教育等の友好交流を積極的に発展させ、相互理解と親善を深め、4市の繁栄に貢献することをここに念願するものである。

日本国札幌市長
板垣武四

アメリカ合衆国 ポートランド市長
J.E. Bud CLARK

ドイツ連邦共和国 ミュンヘン市代表
Dr. Klaus HAHNZOG

中華人民共和国 瀋陽市代表
徐 嶮 泉

札幌市水道局と瀋陽市自來水總公司の 友好合作協議書

札幌市と瀋陽市の友好都市提携十周年を契機とし、札幌市水道局と瀋陽市自來水總公司は下記のことについて合意する。

一、友好親善

双方は水道事業発展のために、今後、継続した深い友好親善関係の構築に努める。

二、技術交流

双方は、職員の相互交流を実施し、下記の項目について協力関係の構築に努める。

- (一) 水源に関する考察
- (二) 水質改善に関する共同研究
- (三) 配水管、給水管の維持管理に関する考察
- (四) 経営管理に関する考察

1990 年 9 月 9 日

札幌市水道局
水道事業管理者

出来岡 謙三

瀋陽市自來水總公司
總經理

張 守恵

日本国札幌市と大韓民国大田広域市の 経済交流促進のための覚書

札幌市と大田広域市は都市の規模や産業構造など多くの共通点があり、今後、両市において、行政、大学・研究機関、企業などの様々な分野の人々が多くの情報を交換・共有し行動することによって、両市の経済産業の一層の発展が期待されます。

そこでここに本日、下記の内容で相互に経済交流を進めることを確認し、覚書を締結いたします。

記

- 1 札幌市及び大田広域市は、それぞれの経済産業振興施策を担当する部所における職員相互の情報交換・共有に努める。
- 2 札幌市及び大田広域市は、それぞれが関連する大学・研究機関、産業振興団体において情報の交換・共有が行われ、さらに、事業連携が推進されるように努める。
- 3 札幌市及び大田広域市は、両市内の企業相互間の連携・協業を容易にする仕組みの構築・運用に努める。
- 4 この覚書は、署名の日から効力を有する。
また、この覚書は、日本語と韓国語の各 2 部を作成して各々保管するものとする。

2004 年 2 月 26 日

札幌市長

上田 文雄

大田広域市長

廉 弘喆

札幌市及び瀋陽市における情報関連産業の 連携協働関係を支援するための協定書(抜粋)

札幌市及び瀋陽市は「札幌市及び瀋陽市における情報関連産業の連携協働関係を推進するための協議書」(2007 年 3 月 15 日締結)第1項に規定するSSプランについて下記の事項を確認する。

- (1)技術者の育成
- (2)情報の提供
- (3)アウトソーシング等マッチング・コンサル支援
- (4)瀋陽技術者に対するビザ発給の円滑化に向けた協働の取組み
- (5)瀋陽企業支援スペースの札幌市施設内への設置
- (6)企業の両市進出の円滑化に向けた支援の実施

2007 年 9 月 20 日

札幌市 経済局長
福井 知克

瀋陽市 情報産業局長
楊 洪峰

瀋陽市 科学技術局長代理
常 亮

瀋陽市環境保護局と札幌市環境局の 友好合作協議書

瀋陽市環境保護局と札幌市環境局は、地球規模での環境問題が深刻化する中、両市の友好都市提携 30 周年を契機に、環境負荷の少ない持続可能な都市の構築を目指し、環境保護分野における取組を一層推進するため、下記のとおり合意する。

- 1 双方は、両市の環境保護分野の発展のために、今後、継続した深い友好親善関係の構築に努める。
- 2 双方は、職員の相互交流などを通し、情報の共有化を図り、環境保護分野における問題解決に向けた協力関係の構築に努める。
- 3 双方は、本協議書調印ののち、連携・協力の具体的な内容を記した覚書を取り交わすこととする。

本協議書は、中国語、日本語を各 2 部作成し、双方署名後、各 1 部を保有するものとする。

2010 年 9 月 15 日

札幌市環境局
局長

山崎 亘

瀋陽市環境保護局
局長

李 超

札幌市建設局と瀋陽市都市建設管理局の 友好合作協議書

札幌市と瀋陽市の友好都市提携三十五周年を契機とし、両都市の友好関係をより深め、建設行政に関する技術交流を図るため、札幌市建設局と瀋陽市都市建設管理局は下記について合意する。

一 友好親善

双方は、道路・公園建設事業発展のために、今後、継続した深い友好親善関係の構築に努める。

二 技術交流

双方は、職員の相互交流を行うことにより、道路・公園建設技術及び施設管理の向上について協力関係の構築に努める。

三 技術研修

札幌市は、瀋陽市都市建設管理局の職員を対象に、道路・公園建設工事及び維持管理に関する研修を実施し、技術向上に向けての支援体制の構築に努める。

2015 年 10 月 29 日

札幌市建設局

局長 若松 郁郎

瀋陽市都市建設管理局

副局長 李 栄波

(参考) 主な姉妹・友好提携団体 (姉妹・友好都市分)

※ 札幌姉妹都市協会調べ

【ポートランド市】

提携年月		提携団体	
1	1960 年 4 月	北海道大学交響楽団	州立ポートランド大学音楽部
2	1960 年 5 月	東ロータリークラブ	北ポートランドロータリークラブ
3	1960 年 9 月	全日本写真連盟札幌支部	オレゴンカメラクラブ
4	1961 年 6 月	全日本精覚流家元直門北海道支部	オレゴン料理長協会
5	1962 年 1 月	札幌エスペラント会	ポートランド世界理解委員会
6	1962 年 4 月	北海道札幌旭丘高校	ジェファーソン高校
7	1962 年 12 月	札幌中央ライオンズクラブ	ダウンタウンライオンズクラブ
8	1963 年 10 月	聖マーガレット教会	セントポール教会
9	1963 年 11 月	北海道札幌山の手高校	オレゴンエписコパルスクール
10	1963 年 12 月	札幌市医師会	マルトノーマ群医師会
11	1964 年 2 月	札幌市立南小学校	メリーズベル小学校
12	1964 年 3 月	日本キリスト教会月寒教会	第一Congregation教会
13	1964 年 4 月	クリスチャン文書伝導団	良書と聖書普及会
14	1964 年 9 月	札幌婦人団体連絡協議会	ポートランド婦人団体連合会
15	1964 年 10 月	札幌歯科医師会	マルトノーマ群歯科医師会
16	1964 年 10 月	札幌市立真駒内小学校	クレストン小学校
17	1964 年 10 月	札幌市立琴似小学校	エインズワース小学校
18	1964 年 11 月	北海道札幌西高校	ウイルソン高校
19	1965 年 1 月	北海道札幌新川小学校	ヤングサン校
20	1965 年 2 月	北海道日米協会	オレゴン日米協会
21	1965 年 3 月	日本キリスト教会北光教会	ノースミンスター教会
22	1965 年 3 月	北海道札幌月寒高校	レイノルズ高校
23	1965 年 4 月	札幌市立幌西小学校	ジョン・ジャコブ・アスター小学校
24	1965 年 4 月	手稲養護学校	ホラディーセンター
25	1965 年 4 月	肢体不自由児総合療育センター	シュライナーズ肢体不自由児病院
26	1965 年 4 月	パークホテル	ベンソンホテル
27	1965 年 5 月	ローヤルホテル	ポートランド・ヒルトンホテル
28	1965 年 5 月	北海道文教大学付属明清高校	セント・メアリーズ高校
29	1965 年 5 月	北星学園大学	ルイス・アンド・クラーク大学
30	1965 年 10 月	日本電信電話(株) 札幌支店	ノースウエストベル社
31	1965 年 12 月	イケバナインターナショナル 札幌支部	イケバナインターナショナル ポートランド支部
32	1966 年 9 月	みなみ幼稚園	ホリールード校
33	1966 年 9 月	ホクレン農業共同組合連合会	パシフィックサプライ・コーポレイティブ
34	1966 年 9 月	草和会	ウィラメットアレンジャーズギルド
35	1967 年 2 月	札幌市立月寒小学校	レント校
36	1967 年 2 月	国際ビューティーサロンひぐち美容室	マクレイ兄弟美容院
37	1967 年 3 月	日本キリスト教会札幌桑園教会	聖マルコ教会
38	1967 年 6 月	札幌市立柏丘中学校	ウェストシルバン校
39	1967 年 6 月	北海道札幌東高校	グラント高校
40	1967 年 10 月	札幌山岳会	クラグラッツ山岳会
41	1968 年 10 月	札幌青年会議所	ポートランド青年会議所
42	1969 年 8 月	札幌市立手稲東小学校	アラメダ小学校
43	1970 年 2 月	札幌市立南郷小学校	アトキンソン小学校
44	1971 年 4 月	札幌ゾントクラブ	ポートランドゾントクラブ
45	1971 年 6 月	札幌消費者協会	オレゴン消費者リーグ
46	1972 年 1 月	喫茶ウエスト	喫茶ジェドウエスト
47	1972 年 2 月	札幌アーチェリー協会	クイバーラトラーズアーチェリークラブ
48	1972 年 2 月	札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース	ポートランドゴルフクラブ
49	1972 年 6 月	四番街商店街	モール 205

提携年月		提 携 団 体
50	1972 年 12 月	北海道大学
51	1972 年 12 月	北海道 YMCA
52	1972 年 12 月	三ッ輪航空サービス
53	1973 年 8 月	北海道大学歯学部
54	1973 年 12 月	嵯峨御流北海道司所
55	1975 年 1 月	北海道札幌北陵高校
56	1975 年 5 月	北海道テレビ放送(株)
57	1976 年 4 月	日本アマチュア無線連盟北海道事務局
58	1976 年 7 月	山本建築設計事務所
59	1976 年 12 月	札幌市立新川中央小学校
60	1977 年 1 月	北海道札幌工業高校
61	1977 年 5 月	北海道放送(株)
62	1977 年 10 月	天政
63	1978 年 4 月	若菜会
64	1979 年 8 月	円山動物園
65	1979 年 8 月	北区連合町内運営協議会
66	1979 年 11 月	札幌三信倉庫
67	1979 年 11 月	ニューフラワー美容室・クニ美容室
68	1981 年 8 月	札幌草月会
69	1982 年 6 月	国際ソロブチミスト
70	1982 年 6 月	ガールスカウト北海道支部
71	1982 年 6 月	札幌市立向陵中学校
72	1982 年 6 月	札幌市立もみじ台南中学校
73	1982 年 6 月	札幌市立手稲東中学校
74	1983 年 6 月	札幌市立澄川南小学校
75	1983 年 8 月	札幌市立北九条小学校
76	1983 年 8 月	札幌市立篠路中学校
77	1984 年 9 月	北海道札幌丘珠高校
78	1984 年 9 月	札幌花き地方卸売市場
79	1984 年 11 月	清田・北野地区町内会連合会
80	1984 年 11 月	札幌いづみ幼稚園
81	1985 年 6 月	市立札幌病院
82	1985 年 6 月	石王写真産業(株)
83	1985 年 6 月	エフエム北海道
84	1985 年 6 月	北海道デザイナー専門学校
85	1985 年 8 月	札幌市立札幌中学校
86	1986 年 12 月	白石区ふるさと会
87	1986 年 12 月	札幌市立厚別西小学校
88	1987 年 1 月	日本ボーイスカウト札幌地区
89	1987 年 2 月	琴似ルーテル教会
90	1988 年 8 月	札幌市立西岡中学校
91	1988 年 9 月	札幌市立北の沢小学校
92	1989 年 6 月	真駒内ロータリークラブ
93	1991 年 1 月	(株)濱建
94	1991 年 6 月	札幌まるやまライオンズクラブ
95	1991 年 7 月	札幌市立白楊小学校
96	1992 年 5 月	北海道札幌開成高校
97	1992 年 10 月	北海道新聞社
98	1994 年 8 月	北海道電力
99	2005 年 11 月	北海道札幌山の手高校
100	2009 年 11 月	札幌市立宮の森小学校
101	2015 年 7 月	北海道情報大学

【ミュンヘン市】

提携年月		提携団体	
1	1974 年 5 月	札幌市立豊水小学校	イットリンガー通り小学校
2	1975 年 8 月	サッポロインターナショナルアンサンブル	ミュンヘン独仏合唱団
3	1976 年 5 月	札幌市立真駒内緑小学校	ディーゼル通り小学校
4	1978 年 4 月	(株)日本調理師倶楽部	バイエルン調理師会
5	1982 年 7 月	ソロプチミスト札幌	ソロプチミストミュンヘン
6	1982 年 7 月	札幌ゾンタクラブ	ミュンヘンゾンタクラブ I・II
7	1982 年 9 月	札幌花き地方卸売市場	ミュンヘン花き卸売市場
8	1983 年 1 月	北海道大学	ミュンヘン大学
9	1987 年 9 月	札幌市立稲積中学校	マクシミリアン・ギムナジウム
10	1987 年 9 月	札幌市立宮の森中学校	リカルダ・フーホ実科学校
11	1992 年 8 月	札幌市電の会	ミュンヘン市電の会
12	2010 年 7 月	北海道大学	ミュンヘン工科大学
13	2022 年 9 月	北海道日独協会	バイエルン独日協会

【瀋陽市】

提携年月		提携団体	
1	1981 年 4 月	学校法人大藤学園	瀋陽市第一商業局付設幼稚園
2	1981 年 4 月	札幌市立三角山小学校	瀋陽市和平区南京街第一小学校
3	1982 年 8 月	北海道札幌清田高校	瀋陽市第二中学校
4	1985 年 5 月	札幌フラワー保育園	瀋陽市鉄西区教職員幼稚園
5	1985 年 5 月	札幌藻南自動車学校	瀋陽市自動車運輸技工学校
6	1985 年 6 月	株式会社丸井今井	瀋陽市連営公司
7	1985 年 6 月	札幌聴力障害者協会	瀋陽市盲人聾啞人協会
8	1985 年 9 月	ニューフラワー美容室・(株)クニ美容室	瀋陽市高級美髪庁
9	1985 年 9 月	札幌市役所労働組合連合会	瀋陽市総工会
10	1986 年 9 月	札幌大谷短期大学	瀋陽音楽学院
11	1988 年 7 月	北海道教育大学札幌校	瀋陽師範大学
12	1988 年 9 月	HBC 北海道放送(株)	遼寧電視台
13	1989 年 1 月	STV 札幌テレビ放送(株)	瀋陽電視台
14	1990 年 6 月	札幌サンプラザ	瀋陽迎賓館
15	1996 年 4 月	学校法人浅井学園大学 (現北翔大学)	魯迅美術学院
16	1999 年 9 月	札幌観光協会	瀋陽市旅游協会
17	1999 年 10 月	北海学園大学	遼寧大学
18	2000 年 9 月	(社)札幌市身体障害者福祉協会	瀋陽市身体障害者連合会
19	2000 年 9 月	北海学園大学	瀋陽農業大学
20	2003 年 8 月	北海道薬科大学	瀋陽薬科大学
21	2015 年 3 月	北海道教育大学札幌校	遼寧大学
22	2015 年 10 月	札幌開成中等教育学校	瀋陽市渾南区第二中学校

【ノボシビルスク市】

提携年月		提携団体	
1	1980 年 5 月	日ソ協会 (現日本ユーラシア協会) 札幌支部	ソ日協会 (現ロシア日本協会) ノボシビルスク
2	1988 年 5 月	北海道国際・ダンス・アクト・主催小沢輝子舞踊団	ノボシビルスク国立アカデミー・オペラ・バレエ
3	1990 年 6 月	札幌市立桑園小学校	第 163 中等学校
4	1990 年 6 月	北海道教育大学札幌校	ノボシビルスク国立教育大学
5	1990 年 6 月	北海道大学考古学研究室	ロシア科学アカデミー・シベリア支部「考古学・民俗学研究所」
6	1990 年 7 月	北海道大学経済学部	ロシア科学アカデミー・シベリア支部「経済・工業生産組織研究所」
7	1990 年 9 月	北海道放送(株)	ノボシビルスク・テレビラジオ委員会
8	1991 年 6 月	札幌演劇鑑賞協会	ノボシビルスク国立劇場「クラスヌィ・ファケル」
9	1992 年 3 月	アイセック・北海道大学委員会	アイセック・ノボシビルスク委員会

提携年月		提携団体	
10	1992 年 3 月	北海道大学理学部	ロシア科学アカデミー・シベリア支部「地質学・地球物理学・鉱物学連合研究所」
11	1993 年 6 月	北海道大学理学部	ノボシビルスク国立大学
12	1995 年 6 月	北海道国際音楽交流協会 (HIMES)	ボシビル国立リカ記念音楽院付属日本音楽文化センター
13	2000 年 6 月	(公財)札幌国際プラザ	ボシビル市立「シベリア・北海道文化センター」(現ボシビル市立「シベリア・北海道」観光・姉妹都市交流センター)
14	2000 年 6 月	北海学園大学	ノボシビルスク国立大学
15	2000 年 6 月	北海商科大学	ノボシビルスク国立大学
16	2000 年 8 月	北海学園大学	シベリア国立交通大学
17	2000 年 8 月	北海商科大学	シベリア国立交通大学
18	2005 年 6 月	札幌国際日本語学院	シベリア国際関係・地方学大学
19	2013 年 6 月	武蔵野美術学院	ノボシビルスク国立美術学院
20	2014 年 11 月	北海道大学文学研究科	ロシア科学アカデミー・シベリア支部「凍土圏生物問題研究所」
21	2016 年 6 月	札幌市立山鼻南小学校	ノボシビルスク市立 4 番ギムナジウム
22	2020 年 10 月	北海道札幌国際情報高等学校	ロシア連邦ノボシビルスク国立工科大学付属 IT リツェイ校

【大田（テジョン）広域市】

提携年月		提携団体	
1	1995 年 11 月	北海学園北見大学（現北海商科大学）	大田大学校
2	1996 年 7 月	北海商科大学	大田大学校
3	1999 年 2 月	北海学園大学	大田大学校
4	2001 年 7 月	北海道大学	忠南大学校
5	2005 年 11 月	北海高等学校・北海学園札幌高等学校	大田大学校
6	2007 年 11 月	札幌大学文化学部	培材（ペジェ）大学校
7	2010 年 2 月	北海道テレビ放送（株）(HTB)	(株)大田放送 (TJB)
8	2010 年 10 月	(公財)札幌国際プラザ（コンベンションビル）	大田コンベンションビル（現大田マーケティング公社）
9	2010 年 10 月	(公財)札幌国際プラザ	国際交流文化院
10	2010 年 10 月	札幌旭丘高等学校	大田外国語高等学校
11	2012 年 2 月	札幌姉妹都市協会	大田—札幌姉妹都市委員会
12	2013 年 2 月	(公財)札幌国際プラザ	大田国際交流センター（現テジョン外国住民統合支援センター）
13	2017 年 9 月	札幌市立大倉山小学校	鶴下（ハッカ）小学校
14	2018 年 11 月	公益社団法人 札幌聴覚障害者協会	社団法人韓国ろうあ者協会テジョン広域市協会

(2) 世界冬の都市市長会

ア 沿革

冬の都市は、積雪寒冷の厳しい気象条件に適したまちづくりを行わなければならないという共通した課題を抱えている。「世界冬の都市市長会」は、“冬は資源であり、財産である”というスローガンのもと、気候・風土の似ている世界の冬の都市が集まり、共通する課題について話し合うことを目的に 1981 年（昭和 56 年）に「北方都市会議」を札幌市が提唱したのが始まりである。翌年、第 1 回北方都市会議が札幌で開催され、その後の継続的な開催を通じて、北方都市間の独自のネットワークに成長した。

このネットワークを更に強化し、北方圏全体の発展のために北方都市が連帯して行動することを目的に、1994 年（平成 6 年）に会員制を導入した恒常的な組織「北方都市市長会」を設立し、会議の名称を「北方都市市長会議」に変更した。

2002 年（平成 14 年）からは、会員都市の実務者による「実務者会議」を開催し、市長会議で議論するテーマや市長会の運営等について協議している。

2004 年（平成 16 年）に米国・アンカレッジ市で開催された第 11 回会議において、冬の課題を抱えるより多くの都市と“快適な冬のまちづくり”に関する課題について話し合うために、会員の対象範囲を北方地域以外の都市にも拡大することとし、会の名称を「世界冬の都市市長会」に変更した。

これまでの会議では、設立初期には「冬の生活課題の解決」について、2000 年代に入ってから「冬の都市における地球環境問題」など、時代に合わせてその議論も変化をし、2021 年（令和 3 年）のロヴァニエミ市長会議では、「寒冷気候の冬の都市における高齢化社会」をメインテーマとして話し合っている。

会長は設立当初から現在に至るまで札幌市長が務め、札幌市国際部に事務局が置かれている。

＊冬の都市とは・・・

積雪または寒冷という気象条件のもとでまちづくりを行う都市。

積雪の基準 … 1 年間のうちで積雪量の最大値が概ね 20cm（8 インチ）以上となること。

寒冷の基準 … 1 年間のうちで最も寒い月の平均気温が概ね摂氏 0 度（華氏 32 度）以下となること。

イ 会員都市

9 カ国 22 都市

(2024 年(令和 6 年) 4 月現在)

国 名	都 市 名
カナダ	エドモントン、ウィニペグ
中国	長春、大慶、ハルビン、ジャムス、吉林、鶏西、牡丹江、チチハル、瀋陽
エストニア	ヴィームシ
フィンランド	ロヴァニエミ
日本	札幌
モンゴル	ウランバートル
韓国	華川、麟蹄、太白
ロシア	マガダン、ノリリスク、ノボシビルスク
米国	アンカレッジ

ウ 事業概要

【世界冬の都市市長会議】

世界冬の都市市長会の主要事業として 2 年に 1 回開催されている。

これまでに 19 回の会議が開催され、都市計画、環境、自然災害、除排雪などについて市長同士が知恵と経験を共有し、“まちづくり”へのヒントや厳しい気象条件を克服する手立てを学んできた。市長会議は、市長自らが各都市の取組事例を紹介し、市長同士が率直な意見交換を行う格好の機会となっている。

〔参考〕前回の世界冬の都市市長会議概要（第19回ロヴァニエミ会議）

○開催期間：2021年（令和3年）11月5日（金）、11月15日（月）～11月16日（火）

○開催地：フィンランド・ロヴァニエミ市（オンライン開催）

○参加都市：7カ国21都市（うち会員都市14都市）

〔政策研究会〕

トピック「冬の都市における観光開発」について、6都市（ロシア・ノリリスク市、カナダ・エドモントン市（ビデオプレゼンテーション）、フィンランド・ロヴァニエミ市、日本・札幌市、中国・瀋陽市、モンゴル・ウランバートル市）のプレゼンテーションが行われた。また、温暖化による降雪時期や降雪量の変化、夏と冬の観光客数のギャップ解消の取り組み、新型コロナウイルス感染症が流行している中での公的機関などから観光業への支援の仕組みや集客イベントの開催状況などについて質疑・意見交換が行われた。

〔分科会〕

【分科会1】サブテーマ「すべての人のためのインフラと建築」について、4都市（フィンランド・ロヴァニエミ市、モンゴル・ウランバートル市、韓国・華川郡、ロシア・ノリリスク市）のプレゼンテーションが行われた。また、インフラと建築に関する各都市の優先課題、気候変動による将来的な人の移住の可能性、各都市で計画を策定するときの市民の声を聞く方法などについて質疑・意見交換が行われた。

【分科会2】サブテーマ「社会的孤立への挑戦と解決策」「高齢者の活躍」について、3都市（フィンランド・ロヴァニエミ市、日本・札幌市、中国・瀋陽市）のプレゼンテーションが行われた。また、各都市における高齢者へのデジタルサービスの提供状況や高齢者のデジタルサービスの利用状況、施策の達成状況に関する調査の方法、高齢化によって将来的に大きな課題になることが予想される孤独や健康の問題などについて質疑・意見交換が行われた。

〔北極圏デザイン小委員会の最終報告〕

課題解決の手法としてデザインを活用し、会員都市の成功事例やノウハウを学び合うため、2015年2月に設立され、活動をしてきた北極圏デザイン小委員会（事務局：ロヴァニエミ市）から、これまでの活動について最終報告が行われた。

【 冬の見本市、冬の都市フォーラム 】

市長会議の併催事業として、「冬の見本市」、「冬の都市フォーラム」が開催されている。

「冬の見本市」では、開催市および会員都市の企業や団体が中心となって、冬や雪に関連する機材や製品の展示をはじめ、さまざまな技術などが紹介されている。

「冬の都市フォーラム」は、さまざまな分野の専門家、学術研究者、市民が、日頃の研究成果について発表する学術交流の場である。

これらが1988年（昭和63年）の第3回会議から併催されるようになったことで、世界冬の都市市長会議は大きなイベントに発展した。

【 実務者会議 】

2002年（平成14年）から会員都市の行政実務者が集まり、次期市長会議の開催計画案や市長会議で議論するテーマの選定、市長会の運営などに関して協議している。

2024年（令和6年）1月には、札幌市で実務者会議を開催し、2024年（令和6年）12月に日本・札幌市で開催される第20回市長会議の開催計画案などについて話し合った。

なお、実務者会議は原則、市長会議の開催前1年以内に事務局がある札幌市で開催することとなっているが、2019年の会議については、会員都市であるロシア・ノリリスク市から開催希望があり、11月に同市にて開催している。

【 小委員会 】

1990年（平成2年）にノルウェー・トロムソ市で開催された第4回北方都市会議から、行政実務者および技術者が専門的な技術・情報の交換、調査・研究を行うための機関として小委員会が設置されている。これまでに、「冬季都市環境問題小委員会」、「ウィンターネット小委員会」、「リサイクル小委員会」、「観光促進小委員会」、「経済振興小委員会」、「雪対策小委員会」、「自然災害対策小委員会」、「持続可能な冬の都市づくり小委員会」、「テロ対策小委員会」、「環境保全小委員会」などが設置され、それぞれのテーマに基づいて調査・研究成果をまとめている。札幌市が事務局となり活動した「冬の都市環境問題小委員会」は、2010年マールドゥ市長会議において最終報告を行って活動を終了した。2015年（平成27年）2月にはロヴァニエミ市が事務局となり「北極圏デザイン小委員会」が設置され、2021年（令和3年）11月の市長会議において最終報告を行った。

エ 2023 年度（令和 5 年度）実施内容

① 2024 年実務者会議

(ア) 会期

2024 年（令和 6 年）1 月 30 日～31 日

(イ) 開催都市

日本・札幌

(ウ) 参加都市

4 か国 8 都市（うち会員都市は 4 か国 6 都市）

(エ) 議題

- ・ 世界冬の都市市長会の運営に関する協議
- ・ 第 19 回市長会議の結果報告
- ・ 会員都市が取り組む環境行動目標設定の報告
- ・ 第 20 回市長会議の開催計画案に関する協議

② 市長会活動の対外的発信

2024 年実務者会議の開催に合わせて、市民に対する市長会の認知度を向上させ、市長会の活動成果を市民に還元するとともに、海外に関する関心を高め、市民の国際理解促進の機会とするため、「世界冬の都市市長会 2024 年実務者会議開催記念イベント 冬の都市のまちづくり～Winter City Planning～」を開催した。

③ 札幌市における先進的取組の紹介・魅力の発信

2024 年実務者会議の開催に合わせて、参加都市の実務者に札幌市の先進的な取組や施策を紹介するとともに札幌市の魅力を発信することを目的として、札幌雪まつりの制作現場や札幌国際芸術祭などの市内視察を実施した。

オ 会議開催実績

第 1 回 札幌会議 <1982 年 2 月 7 日～1 月 10 日>

参加都市：6 カ国 9 都市

エドモントン（カナダ）、ハルビン、瀋陽（以上、中国）、ヘルシンキ（フィンランド）、ミュンヘン（西ドイツ）、札幌（日本）、アンカレッジ、ミネアポリス、ポートランド（以上、米国）

テーマ：・ 北方における都市づくりの方向

- ・ 北方都市の交通問題
- ・ 北方都市の住環境整備
- ・ 北方の芸術、文化、スポーツ、レクリエーションの振興

第 2 回 瀋陽会議 <1985 年 9 月 19 日～9 月 22 日>

参加都市：6 カ国 10 都市

エドモントン（カナダ）、長春、ハルビン、瀋陽（以上、中国）、ミュンヘン（西ドイツ）、トリノ（イタリア）、札幌、滝川（以上、日本）、シカゴ、ポートランド（以上、米国）

テーマ：・ 北方都市の設計と建設

- ・ 北方都市におけるエネルギー利用と経済発展
- ・ 北方都市の緑化と文化活動
- ・ 北方都市における水資源の開発・利用と文化遺産の発掘保存

第 3 回 エドモントン会議 <1988 年 2 月 13 日～2 月 15 日>

参加都市：12 カ国 17 都市

インスブルック（オーストリア）、エドモントン、ハル（以上、カナダ）、長春、ハルビン、瀋陽（以上、中国）、ヘルシンキ（フィンランド）、アルペールビル（フランス）、ミュンヘン（西ドイツ）、札幌、滝川（以上、日本）、オスロ、トロムソ（以上、ノルウェー）、ストックホルム（スウェーデン）、レニングラード（ソ連）、ミネアポリス（米国）、サラエボ（ユーゴスラビア）

テーマ：メインテーマ『ビジネス・オブ・ウィンター』

- ・ 経済発展～北方都市の可能性
- ・ 環境～健康な冬の都市をめざして
- ・ 北方の芸術、文化、スポーツ、レクリエーションの振興

第 4 回 トロムソ会議 <1990 年 3 月 2 日～3 月 4 日>

参加都市：10 カ国 20 都市

インスブルック（オーストリア）、カルガリー、エドモントン、ハル、モントリオール（以上、カナダ）、ハルビン、瀋陽（以上、中国）、オウル、タンペレ（以上、フィンランド）、アルペールビル（フランス）、ヌーク（グリーンランド）、札幌、滝川（以上、日本）、リレハンメル、オスロ、トロムソ（以上、ノルウェー）、ルレオ、ストックホルム（以上、スウェーデン）、アンカレッジ、ミネアポリス（以上、米国）

テーマ：メインテーマ『暖かな冬の都市～暮らしの向上と経済発展』

- ・ 総合的な街づくり
- ・ 冬の技術開発
- ・ 冬の都市交通
- ・ 小都市の挑戦
- ・ 冬の都市の芸術文化

第5回 モントリオール会議 <1992年1月17日～1月21日> 参加都市：11 カ国 34 都市 インスブルック（オーストリア）、カルガリー、エドモントン、ハリファクス、ハル、ラバル、モントリオール、オタワ、ケベック・シティ、レジナ、セント・ジョーンズ、ウィニペグ、イエローナイフ（以上、カナダ）、長春、ハルビン、ジャムス、吉林、チチハル、瀋陽（以上、中国）、プラハ（チェコスロバキア）、ヘルシンキ、オウル（以上、フィンランド）、グルノーブル（フランス）、ヌーク（グリーンランド）、青森、札幌、滝川（以上、日本）、リレハンメル、オスロ、トロムソ（以上、ノルウェー）、ルレオ、ストックホルム（以上、スウェーデン）、アンカレッジ、ミネアポリス（以上、米国） テーマ：メインテーマ『冬と調和した暮らし』 ・環境 ・都市計画 ・健康と体力づくり
第6回 アンカレッジ会議 <1994年3月5日～3月10日> 参加都市：10 カ国 30 都市 インスブルック（オーストリア）、カルガリー、エドモントン、ハル、モントリオール、ケベック・シティ、ウィニペグ、イエローナイフ（以上、カナダ）、ハルビン、ジャムス、吉林、チチハル、瀋陽（以上、中国）、ヘルシンキ（フィンランド）、ヌーク（グリーンランド）、青森、千歳、札幌、滝川（以上、日本）、トロムソ（ノルウェー）、ブラーツク（ロシア）、キルナ、ルレオ、ストックホルム（以上、スウェーデン）、アンカレッジ、パロー、ベゼル、キナイ半島市、マーケット、バルディーズ（以上、米国） テーマ：メインテーマ『未来を求めて北へ』 ・コミュニケーション「コミュニケーション・テクノロジーの発達」 ・輸送「国際航空産業」 ・健康「地球の気候変動」 ・ビジネス「冬の観光市場」
第7回 ウィニペグ会議 <1996年2月9日～2月12日> 参加都市：9 カ国 33 都市 ブランドン、チャーチル、エドモントン、ハル、モントリオール、プリンス・ジョージ、ケベック・シティ、サスカトゥーン、ストラスコーナ、セント・アルバート、チューロン、トンプソン、ホワイトホース、ウィニペグ、イエローナイフ（以上、カナダ）、長春、ハルビン、ジャムス、瀋陽（以上、中国）、ヌーク（グリーンランド）、レイキャビク（アイスランド）、青森、札幌、滝川（以上、日本）、カウトケイノ、トロムソ（以上、ノルウェー）、ブラーツク、ウスチ・イリムスク（以上、ロシア）、キルナ、ルレオ、ストックホルム（以上、スウェーデン）、アンカレッジ、グランド・フォークス、マーケット（以上、米国） テーマ：メインテーマ『グローバル・リビング～冬の都市の生活と労働、余暇』 ・経済振興「北方都市の経済活動の発展をめざして」 ・アクセスビリティ「冬の都市における交通とアクセスビリティ」 ・余暇とレクリエーション「長期計画における余暇とレクリエーション施策」
第8回 ハルビン会議 <1998年1月15日～1月18日> 参加都市：10 カ国 49 都市 エドモントン、ハッピーバレー・グース・ベイ、プリンス・ジョージ、セント・アルバート、ウィニペグ（以上、カナダ）、北京、長春、大連、大慶、ハルビン、黒河、フフホト、ジャムス、吉林、鶏西、満州里、牡丹江、青島、チチハル、瀋陽、ウルムチ、西安、牙克石、伊春（以上、中国）、オールフス（デンマーク）、ケミ、オウル（以上、フィンランド）、ヌーク（グリーンランド）、青森、旭川、新潟、札幌、滝川（以上、日本）、ウランバートル（モンゴル）、ノールカップ、トロムソ（以上、ノルウェー）、チタ、ドウジンカ、インタ、ハバロフスク、ロヴォゼコ、ムルマンスク、ノリリスク、ストレジエヴオイ、ウラジオストク（以上、ロシア）、キルナ、ルレオ（以上、スウェーデン）、アンカレッジ、ミネアポリス（以上、米国） テーマ：メインテーマ『みんなで多姿多彩の北方都市を創りあげよう』 ・高齢者と子供にとって冬とは ・冬の観光資源の開発と利用 ・氷と雪の文化芸術の振興
第9回 ルレオ・キルナ会議 <2000年2月12日～2月16日> 参加都市：10 カ国 26 都市 ゼニカ（ボスニア）、プリンス・ジョージ（カナダ）、長春、ハルビン、ジャムス、鶏西、瀋陽（以上、中国）、ケミ、オウル（以上、フィンランド）、ヌーク（グリーンランド）、青森、札幌（以上、日本）、太白（韓国）、バルドゥ、モールセル、トロムソ（以上、ノルウェー）、エルスピン、ボーデン、ハバランダ、キルナ、ルレオ、バヤラ、ピーティオ、ストックホルム（以上、スウェーデン）、アンカレッジ、ミネアポリス（以上、米国） テーマ：メインテーマ『冬の都市における持続可能な開発』 ・自然災害時における相互支援体制 ・除雪体制と市民参加
第10回 青森会議 <2002年2月7日～2月10日> 参加都市：13 カ国 28 都市 プリンス・ジョージ、スーセント・マリー（以上、カナダ）、長春、ハルビン、ジャムス、吉林、鶏西、チチハル、瀋陽（以上、中国）、マールドゥ（エストニア）、ケミ（フィンランド）、ヌーク（グリーンランド）、テヘラン（イラン）、青森、千歳、函館、札幌、滝川、横手（以上、日本）、平澤、太白（以上、韓国）、ウランバートル（モンゴル）、トロムソ（ノルウェー）、ハバロフスク、ユジノサハリンスク（以上、ロシア）、キルナ、ルレオ（以上、スウェーデン）、アンカレッジ（米国） テーマ：メインテーマ『豊かな北の暮らしを育む～環境・文化・生活～』 ・中心市街地の活性化 ・環境負荷の小さい都市システム
第11回 アンカレッジ会議 <2004年2月18日～2月22日> 参加都市：11 カ国 27 都市 プリンス・ジョージ、カルガリー、フォートネルソン、ルダック、プリンス・ルパート、スーセント・マリー、イエローナイフ（以上、カナダ）、長春、ハルビン、ジャムス、チチハル、瀋陽（以上、中国）、マールドゥ（エストニア）、ヌーク（グリーンランド）、青森、札幌、千歳（以上、日本）、太白（韓国）、ウランバートル（モンゴル）、トロムソ（ノルウェー）、マガダン（ロシア）、キルナ（スウェーデン）、アンカレッジ、パロー、エリム、ジュノー、メトラカタラ（以上、米国） テーマ：メインテーマ『未知なる冬への挑戦』 ・冬の都市デザイン：サテライトセンター ・市の行政サービスと地域開発におけるスポーツコミュニティの役割

第12回 長春会議 <2006年1月15日～1月18日> 参加都市：13カ国29都市 ルドウツク、プリンス・ジョージ（以上、カナダ）、白銀、長春、ハルビン、ジャムス、吉林、鶏西、昆明、綿陽、チチハル、瀋陽、四平、天津、通化、ウラムチ（以上、中国）、マールドゥ（エストニア）、ヌーク（グリーンランド）、青森、札幌、仙台（以上、日本）、太白（韓国）、カウナス（リトアニア）、トロムソ（ノルウェー）、マガダン（ロシア）、ノビ・サド（セルビア・モンテネグロ）、ジリナ（スロバキア）、カルマル（スウェーデン）、アンカレッジ（米国） テーマ：メインテーマ『冬における発展』 ・冬季における環境問題 ・冬季における市民生活の課題の克服
第13回 ヌーク会議 <2008年1月18日～1月20日> 参加都市：8カ国22都市 長春、ハルビン、ジャムス、鶏西、瀋陽（以上、中国）、ヌーク、アシアート、イトコルトミット、イヒドゥート、ナノルタリーク、パーミュート、カコトック、シシミュート、ウペルナビク、ウマナック（以上、グリーンランド）、札幌（日本）、太白（韓国）、カウナス（リトアニア）、トロムソ、ハンメルフェスト（以上、ノルウェー）、アンカレッジ（アメリカ）、オールボー（デンマーク） テーマ：メインテーマ『北極圏における気候変動』 ・地球温暖化の影響を抑制する手段 ・冬の都市における持続可能な発展
第14回 マールドゥ会議 <2010年1月20日～1月22日> 参加都市：11カ国18都市、1団体 長春、ハルビン、ジャムス、鶏西、瀋陽（以上、中国）、マールドゥ、シンディ（以上、エストニア）、ヌーク（グリーンランド）、札幌（日本）、太白、華川（以上、韓国）、エーカプビル（ラトビア）、カウナス（リトアニア）、ウランバートル（モンゴル）、トロムソ、ロングイエールピエン、ノルウェー国立住宅銀行（以上、ノルウェー）、イリチエフスク（ウクライナ）、アンカレッジ（アメリカ） テーマ：メインテーマ『北の都市における環境保全の特性』 ・冬の都市の多文化社会 ・電子情報化社会
第15回 ウランバートル会議 <2012年1月13日～1月15日> 参加都市：7カ国13都市 長春、ハルビン、ジャムス、チチハル、瀋陽（以上、中国）、マールドゥ、ヴィームシ（以上、エストニア）、札幌（日本）、ウランバートル（モンゴル）、華川、太白（以上、韓国）、ウラン・ウデ（ロシア）、アンカレッジ（アメリカ） テーマ：メインテーマ『冬の都市におけるエネルギー供給と熱の効率的な利用』 ・熱エネルギーの効率的な利用 ・電力の効率的な利用 ・冬の都市における大気汚染と対策
第16回 華川会議 <2014年1月16日～1月18日> 参加都市：4カ国12都市 長春、ハルビン、ジャムス、鶏西、チチハル、瀋陽（以上、中国）、松本、札幌（以上、日本）、華川、麟蹄、太白（以上、韓国）、ロヴァニエミ（フィンランド） テーマ：メインテーマ『冬の都市におけるありのままの自然と資源としての自然を保全し、それらを将来に渡って活用していきける有効な方法について』 ・資源としての自然を活用した観光コンテンツの充実と観光産業の促進 ・自然環境保護活動を通じた「冬の都市」のイメージアップ
第17回 札幌会議 <2016年7月27日～7月30日> 参加都市：8カ国32都市 エドモントン（カナダ）、長春、ハルビン、ジャムス、鶏西、チチハル、瀋陽（以上、中国）、コペンハーゲン（デンマーク）、ロヴァニエミ（フィンランド）、松本、札幌、弘前、金ヶ崎、福岡、留萌、苫小牧、美唄、千歳、滝川、恵庭、ニセコ、倶知安、月形、下川（以上、日本）、ウランバートル（モンゴル）、華川、麟蹄、太白（以上、韓国）、ノボシビルスク、グズキンスキー、プーロヴスキー地区、ヤマロ・ネネツ自治管区（以上、ロシア） テーマ：メインテーマ『冬の都市のまちづくり～独自性とその魅力～』 ・冬を活用したまちづくり ・冬以外の気候特性を生かしたまちづくり ・冬の都市における環境に配慮した持続可能なまちづくり
第18回 瀋陽会議 <2018年9月12日～9月13日> 参加都市：21カ国46都市 ビクトリア州（オーストラリア）、ガラダグ地区（アゼルバイジャン）、ミンスク（ベラルーシ）、エドモントン、バンクーバー（以上、カナダ）、長春、ハルビン、ジャムス、吉林、鶏西、牡丹江、チチハル、瀋陽（以上、中国）、ロヴァニエミ、ケミ、ヤムサ（以上、フィンランド）、クレルモン＝フェラン、ギヨーム（以上、フランス）、バイエルン州、ブレーメン、フライブルク（以上、ドイツ）、松本、札幌、函館、釧路（以上、日本）、ユールマラ（ラトビア）、ウランバートル（モンゴル）、ラバト（モロッコ）、ブラガ（ポルトガル）、華川、麟蹄、太白、ソウル、仁川、大田、春川、群山、公州、平昌（以上、韓国）、ノリリスク（ロシア）、ズレニャニン（セルビア）、ジンジャ（ウガンダ）、アンディジャン州（ウズベキスタン）、ベルファスト（イギリス）、ソルトレークシティー（アメリカ）、フロリダ県（ウルグアイ） テーマ：メインテーマ『冬の都市の暮らしをより良くしよう！』 ・冬のまちづくりにおけるイノベーション ・冬のスマートシティの創造 ・冬の都市における持続可能なまちづくり ・幸せで美しい冬の都市を作ろう
第19回 ロヴァニエミ会議 <2021年11月5日、11月15日～11月16日> 参加都市：7カ国21都市 エドモントン（カナダ）、長春、大慶、ハルビン、ジャムス、吉林、チチハル、瀋陽（以上、中国）、ロヴァニエミ（フィンランド）、札幌、函館、鹿児島、北広島、北九州、松本（以上、日本）、ウランバートル（モンゴル）、華川、春川（以上、韓国）、ノリリスク、ノボシビルスク、ハバロフスク（以上、ロシア） テーマ：メインテーマ『寒冷気候の冬の都市における高齢化社会』 ・社会的孤立への挑戦と解決策 ・高齢者の活躍 ・すべての人のためのインフラと建築

(3) その他交流

ア 2023 度（令和 5 年度）事業概要

事業名	札幌国際交流館国際交流事業			総務局 国際部 交流課
趣旨・概要	スポーツ・文化活動を通じて、地域住民を始めとした市民の国際交流への理解・学習機会の提供及び多文化共生の意識醸成や外国籍市民を含めた地域コミュニティの活性化を目的として実施している。			
2023 年度 事業実績	以下の事業を行い、国際交流への理解・学習機会の提供及び多文化共生の意識醸成や地域コミュニティの活性化を図った。			
	No	実施日	イベント名	利用者数 (観覧者含)
	1	4/6	スポーツで国際交流を図ろう、バスケットボール	10
	2	4/6	スポーツで国際交流を図ろう、バドミントン	9
	3	4/6	日本のスポーツ体験 空手を体験しよう	5
	4	4/9	日本の文化体験 書道を体験しよう	4
	5	4/8	日本のお祭りを体験しよう！縁日	103
	6	4/9	日本のお祭りを体験しよう！縁日	145
	7	4/8	海外の民族舞踊体験 フラダンスショー・体験会	12
	8	4/8	日本文化「運動会」かけっこにチャレンジ！	48
	9	4/9	キッズイングリッシュ体操	26
	10	5/14	日本の行事体験 母の日プレゼント	6
	11	5/20	外国語で遊ぼう	72
	12	5/29	はじめての中国語国座	4
	13	6/3	外国人母親交流会	16
	14	6/10	初級中国語講座	6
	15	6/17	初級中国語講座	5
	16	6/17	外国語で遊ぼう	62
	17	6/18	日本の行事体験 父の日プレゼント	8
	18	6/24	初級中国語講座	6
	19	6/24	外国語で遊ぼう	64
	20	7/1	中級中国語講座	5
	21	7/4	サルセッション体験会	11
	22	7/7～7/31	日本の行事体験 七夕短冊作成	158
	23	7/8	中級中国語講座	5
	24	7/11	サルセッションダンスレッスン	6
	25	7/15	中級中国語講座	3
	26	7/18	サルセッションダンスレッスン	4
	27	7/22	中級中国語講座	5
	28	7/27	外国語で遊ぼう	18
	29	7/25	サルセッションダンスレッスン	6
	30	7/29	中級中国語講座	5
	31	8/1	サルセッションダンスレッスン	6
	32	8/5	中級中国語講座	5
	33	8/8	サルセッションダンスレッスン	5
	34	8/12	中級中国語講座	6
	35	8/19	外国語で遊ぼう	28
	33	8/19	中級中国語講座	5
	34	8/22	サルセッションダンスレッスン	4
	35	8/26	中級中国語講座	4
	36	8/26	外国人母親交流会	16
	37	8/29	サルセッションダンスレッスン	4
	38	9/5	サルセッションダンスレッスン	4
	39	9/9	中国語会話講座	5
	40	9/12	サルセッションダンスレッスン	4
	41	9/16	世界ふれあいひろば	572

42	9/19	サルセッションダンスレッスン	4
43	9/23	中国語会話講座	3
44	9/30	中国語会話講座	8
45	10/3	中国語会話講座	8
46	10/7	サルセッションダンスレッスン	9
47	10/8	国際交流ドッジボール大会	258
48	10/9	多文化交流フェスティバル	105
49	10/10	サルセッションダンスレッスン	8
50	10/14	外国語で遊ぼう	156
51	10/17	サルセッションダンスレッスン	9
52	10/21	白石ワンダーランド	89
53	10/24	サルセッションダンスレッスン	9
54	10/28	中国語会話講座	7
55	11/7	サルセッションダンスレッスン	8
56	11/11	中国語会話講座	9
57	11/10	サルセッションダンスレッスン	7
58	11/14	中国語会話講座	6
59	11/18	中国語会話講座	9
60	11/18	外国語で遊ぼう	96
61	11/19	国際交流 運動会	231
62	11/21	サルセッションダンスレッスン	7
63	11/28	サルセッションダンスレッスン	9
64	12/2	中国語日常会話講座	8
65	12/5	はじめてのドイツ語講座	9
66	12/9	中国語日常会話講座	7
67	12/9	外国のクリスマス会	136
68	12/12	はじめてのドイツ語講座	9
69	12/16	中国語日常会話講座	8
70	12/16	外国のクリスマス会	143
71	12/19	はじめてのドイツ語講座	9
72	12/23	中国語日常会話講座	6
73	1/6	中国語日常会話講座	11
74	1/9	はじめてのドイツ語講座	12
75	1/13	中国語日常会話講座	11
76	1/16	はじめてのドイツ語講座	11
77	1/21	外国人日本の文化体験会	43
78	1/20	大人のための英会話教室	12
79	1/20	小学生英語ひろば	18
80	1/20	英語で遊ぼう	53
81	1/23	はじめてのドイツ語講座	12
82	1/27	中国語日常会話講座	8
83	1/30	はじめてのドイツ語講座	13
84	2/3	旅行で使える中国語講座	8
85	2/6	はじめてのドイツ語講座	12
86	2/10	旅行で使える中国語講座	7
87	2/13	はじめてのドイツ語講座	11
88	2/17	旅行で使える中国語講座	9
89	2/20	大人のための英会話教室	13
90	2/20	英語で遊ぼう	44
91	2/20	小学生英語ひろば	11
92	2/20	はじめてのドイツ語講座	11
93	2/24	旅行で使える中国語講座	8
94	2/27	はじめてのドイツ語講座	13
95	3/2	旅行で使える中国語講座	11

96	3/3	国際交流ダンスフェスティバル	484
97	3/5	サルセッションダンスレッスン	6
98	3/9	旅行で使える中国語講座	9
99	3/12	サルセッションダンスレッスン	7
100	3/16	旅行で使える中国語講座	10
101	3/16	低学年小学生英語ひろば	23
102	3/16	高学年小学生英語ひろば	16
103	3/17	かけっこ教室	23
104	3/19	サルセッションダンスレッスン	6
105	3/23	JICA 青年海外協力隊員トークショウ・映画上映会	53
106	3/23	大人の英会話教室	12
107	3/23	英語で遊ぼう	46
事業数 107 回		利用者数合計	3,952 人

事業名	札幌留学生交流センター地域交流事業	総務局 国際部 交流課
趣旨・概要	市民の国際理解の増進を図り、留学生の地域理解を深めることを目的として、札幌留学生交流センターが供用開始となった 2000 年度から実施している。	
2023 年度 事業実績	1. 町内会との合同花植え 内 容：地元町内会と合同で、札幌留学生交流センター近隣の街路樹マスに花植えを行い、交流を深めた。 会 場：札幌留学生交流センター周辺 2. 地域との合同防災訓練 内 容：札幌留学生交流センター及び札幌国際ユースホステルにおける火災避難訓練を実施した後、近隣住民と合同で「消火器操作訓練」「煙道通過訓練」「一次救命訓練」「火災・自身への備え（講話）」を行った。 会 場：札幌留学生交流センター周辺ほか 3. 留学生文化紹介セミナー 内 容：札幌市中央図書館を会場に、トルコ出身と韓国出身の留学生がそれぞれのテーマについて発表。多くの質問が寄せられ、市民と交流を行った。 会 場：中央図書館 4. 和楽器（琵琶）と南京玉すだれ 内 容：国際プラザ外国語ボランティアネットワークのグループ“SKY”の協力を得て、留学生や家族が琵琶と南京玉すだれの実演を鑑賞したあと体験会を行った。 会 場：札幌留学生交流センター	

事業名	札幌市グリーティングカード制作	総務局 国際部 交流課
趣旨・概要	1969 年（昭和 44 年度）より、毎年 12 月に札幌市の PR を兼ねたグリーティングカードを制作し、札幌市長名で国内外へ発送している。デザイン制作は、2000 年（平成 12 年）から 2007 年（平成 19 年）は札幌市立高等専門学校に、2008 年（平成 20 年）からは札幌市立大学に依頼している。 また、年初には、国際理解のきっかけの場として、世界各国から札幌市長に届いたグリーティングカードを展示する「ワールドグリーティングカード展・姉妹都市パネル展」を開催している。	
2023 年度 事業実績	<主な発送先> 姉妹・友好都市、世界冬の都市市長会会員都市、在札・在日外国公館 <発送した国・地域数（日本除く）> 31 か国（計 468 通） <到着した国・地域数> 31 か国（計 463 通） <ワールドグリーティングカード展> 1 月 22 日～26 日 札幌地下街オーロラスクエア	

事業名	2024 さっぽろ雪まつり歓迎レセプション	総務局 秘書部 秘書課
趣旨・概要	さっぽろ雪まつりの開催に合わせて札幌を訪れる各国駐日大使や札幌駐在総領事及び雪まつりの開催を支える関係者を招き、昭和 62 年より毎年歓迎レセプションを開催している。開催の目的は、主に、シティプロモートと、さっぽろ雪まつりの円滑な開催につなげることである。	
2023 年度 事業実績	実施日	2 月 3 日
	開催場所	札幌パークホテル 3 階「パークホール」
	参加国・都市名等	オーストリア、ドイツ、ポーランド、アメリカ、大韓民国、中華人民共和国
	参加人数	120 名（うち海外からの参加者数 28 名）

事業名	語学指導等を行う外国青年招致事業 (JET プログラム)							総務局 国際部 交流課 教育委員会 学校教育部 教育推進課					
趣旨・概要	JET プログラムとは、総務省、外務省、文部科学省及び（一財）自治体国際化協会の協力の下で、地方自治体が主体となって実施している国際的人的交流事業。外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図ることを目的として 1987 年（昭和 62 年）8 月に開始された。同プログラム開始依頼以来、全国で延べ 7 万 9 千人以上が参加している。 本事業で来日する外国青年は、日本全国の小・中学校や高校で英語の指導助手を務めるほか、各自治体の進める国際交流事業に携わることにより地域住民とさまざまな形で交流を深めている。												
2023 年度 事業実績	内 容	【国際交流員；CIR】（Coordinator for International Relations） 地域において国際交流活動に従事する外国青年。 本市では、市の国際政策に係る調査、助言、立案及び実施のほか、出前講座へ派遣されるなどの諸活動に従事している。 【外国語指導助手；ALT】（Assistant Language Teacher） 教育委員会に所属し、外国語教育に従事する外国青年。 本市では、英語教員の指導助手として市立の中学校や高等学校等に配置されている。											
	配置人数	国 際 交 流 員：7 人（米国 2、ドイツ 1、ロシア 1、中国 1、韓国 1、英国 1） 外国語指導助手：35 人（米国 15、カナダ 11、英国 4、フィリピン 2、オーストラリア 3） ※令和 6 年 3 月現在											
備 考	〈JET プログラムによる配置人数の推移〉												
	年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	CIR	5	5	6	6	7	7	7	7	7	7	6	7
	ALT	35	35	36	35	35	35	35	35	35	35	35	35
	計	40	40	42	41	42	42	42	42	42	42	41	42

事業名	創造都市ネットワーク活用事業	市民文化局 文化部 文化振興課
趣旨・概要	文化芸術に代表される創造性を生かした産業振興・まちづくりを進め、人材育成・集積を図ることで、まちを活性化し、都市ブランド向上にもつなげるため、ユネスコ創造都市ネットワークを活用した都市間交流やメディアアーツ都市の啓発イベントなどを実施。	
対象国 対象都市	ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市（世界 350 都市）	
2023 年度 事業実績	（継続） ◎会議等への参加 ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市で開催されたイベント・会議等において、連携事業の調整やシティプロモーション等を実施。 （新規） ・令和 5 年度に札幌市がユネスコ創造都市ネットワーク加盟 10 周年を迎えたことを記念し、メディアアーツ加盟都市と CG 映像を共同制作するプロジェクト「未来のメディアアーツ都市」を実施。全 18 都市が参加した。 当該 CG 映像は、ユネスコ創造都市ネットワーク・メディアアーツ分野会議（カリ市（コロンビア））において世界初公開した他、地下歩行空間北 2 条サイネージでの放映や、市内メディアアーツ展示イベント「Sapporo Parallel Museum2024」での展示を行った。 ・札幌市立元町中学校の協力のもと、メディアアーツ都市であるブラガ市（ポルトガル）と学生間交流事業「Mini Sound Map」を実施。生徒らは、互いに自身の都市と相手の都市について学び、生徒自身が録音した音源や描いたイラストを使って、オンラインのオーディオビジュアルマップを制作した他、ビデオメッセージの交換による国際交流を実施した。	

事業名	国際招へいプログラム		市民文化局 文化部 文化振興課
趣旨・概要	国際公募により選定したアーティストを招聘し、札幌でのリサーチや作品制作、地域との交流等を含む創作環境を提供し、またその様子を広報することで、国際的な文脈における札幌の文化事業の認知度向上を図る。 令和5年度は、前年に札幌市とミュンヘン市の姉妹都市締結 50 周年を記念して札幌のアーティストをミュンヘン市に招へいしていただいたお礼も兼ね、ミュンヘン市のアート集団「トライブグット」を天神山アートスタジオに招へいした。		
2023 年度 事業実績	開催期間	1月4日～2月27日（滞在期間）	
	参加人数	2名	
	事業内容	AIR（アーティストインレジデンス）拠点事業の一環として、さっぽろ天神山アートスタジオが開館した平成26年度以降毎年実施している。令和5年度はミュンヘンで廃材となったアート素材のリサイクル活動を行っているアート集団「トライブグット」を招へいし、札幌において、調査や地元の方たちとの対話を重ねて、札幌独自の運用システム構築を試みた。	

事業名	さっぽろアスリートサポート事業（スポーツ大会出場及び強化合宿参加助成事業（国際の部））		スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興担当課
趣旨・概要	スポーツ活動の充実と発展を促進するために、市民のさまざまなスポーツ活動に対して、助成金を交付している。 助成金には、スポーツ大会出場及び強化合宿参加に助成をしており、国際の部・全国の部の2つ支援対象がある。スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業「国際の部」においてはスポーツを通じた国際交流等を目的として、国外で開催されるスポーツ大会等に参加する団体及び個人に対し助成を行っている。 団体としては25万円（参加者5人未満の団体については1人あたり5万円が限度）、個人では5万円を上限に助成金交付を行っている。 また、22歳以下の者で競技団体の推薦を得て大会に参加する場合は、団体としては50万円（参加者5人未満の団体については1人あたり10万円が限度）、個人では10万円を上限としている。		
2023 年度 事業実績	参加人数	21名	
	事業内容	道外で開催される国際スポーツ大会等に参加する団体及び個人に対する助成。 ・世界クラシック&エキップベンチプレス選手権大会（パワーリフティング・南アフリカ）1名 ・GRAN FONDO 2023 UCI WORLD CHAMPIONSHIPS（自転車・スコットランド）2名 ・Dubai 2023 World Para Powerlifting Championships（パワーリフティング・ドバイ）1名 ・2023 IAU 50km 世界選手権（陸上・インド）1名 ・World Mixed Curling Championship 2023（カーリング・スコットランド）5名 ・第13回国際大会マス大山メモリアルカップ（空手・ルーマニア）1名 ・第2次スノーボード競技(AL)タレント発掘育成事業遠征（スノーボード・カナダ）1名 ・ISMF WORLD CUP SKIMO Boi TAuLL 2024（スキーモ・スペイン）1名 ・第4次コンバインド競技(男女)タレント発掘育成事業遠征（スキー）1名 ・International Quebec Pee-wee Tournament（アイスホッケー・カナダ）2名 ・第3次ジャンプ競技(男女)タレント発掘育成事業遠征（スキー）4名 ・第5次スノーボード競技ALタレント発掘育成事業遠征（スノーボード・オーストリア）1名	

事業名	シンガポール少年少女交流事業		子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課
趣旨・概要	昭和 62 年、札幌市長がシンガポール共和国を訪問した際に、同国首相との会談で、中学生の相互交流を提案し、シンガポール共和国の賛同を受け昭和 63 年度より事業を開始。 各種交流を通じて相互交流と友好親善を深め、相手国の生活習慣や文化の違いを体験することにより、国際的視野を広め、豊かな国際感覚を身につけた少年少女の育成を目的に、札幌市・シンガポール共和国が相互に中学生の派遣と受入を隔年で実施している。 令和 5 年度は、札幌市からシンガポール共和国へ 16 回目の派遣を行った。		
2023 年度 事業実績	実施日	8 月 3 日～8 月 17 日	
	対象国	シンガポール共和国	
	参加人数	14 名（うち引率 2 名）	
	事業内容	市内の中学 2 年生 12 名をシンガポール共和国へ派遣した。現地では、ホームステイをしながら、中学校体験入学、市内視察、特別英語レッスンなどのプログラムに参加した。	

事業名	JICA 草の根技術協力事業「ネパール国ポカラ市給配水管理業務の体系化を目指した技術協力事業」		水道局 総務部 企画課
趣旨・概要	【令和 5 年度活動概要】 令和 5 年度は、第 1 回札幌研修及び第 1 回ネパール研修を行い、漏水対応標準作業手順書の作成、水質管理計画の作成、実習や視察による技術の習得、業務のデモンストレーション等を実施した。 【参考】 ・第 1 回札幌研修（令和 5 年 8～9 月、14 日間、7 名のネパール人を受入） ・第 1 回ネパール研修（令和 6 年 1～2 月、漏水対応研修…11 日間、局職員 3 名派遣／水質管理研修…11 日間、局職員 3 名派遣／事務局…18 日間、局職員 2 名派遣）		
盟約書等	札幌市水道局とネパール水道公社間のプロジェクトメンバーの選出に関する覚書（2022 年 3 月 14 日）		
2023 年度 事業実績	実施日	4 月～3 月	
	対象国 対象都市	ネパール国ポカラ市	
	参加人数	約 30 名	
	事業内容	本事業はネパール国ポカラ市のモデルエリアにおいて、「水道水の質・量の維持管理に必要な業務が体系的に継続して実施されること」を目標とし、漏水対応と水質管理業務を体系的に実施できるネパール人技術者の育成を目指す。 事業の前半の 1 年半は、オンライン会議ツールを利用したオンラインでの研修やディスカッションを実施した。事業の後半の 1 年半は互いの国を往来し、実習や視察の研修を行っている。	

イ その他の都市との交流確認書

【交流確認書】

日本国北海道札幌市・中華人民共和国 浙江省杭州市 交流覚書

札幌市と杭州市は共に豊かな自然に恵まれた著名な国際都市として、将来に亘り幅広い交流と協力の可能性を持っている。両市の発展を推進するため、平等互恵の原則に基づき、双方は下記の事業について交流と協力を進めることを確認する。

1 職員の相互派遣の実施

両市の職員交流を進め人材を養成するため、2005年に相互に職員を派遣し、言語及び行政分野の研修を行う。

2 都市PRと情報交換の推進

両市の特性を活かした都市PRを実施し、まちづくりや都市活動など幅広い分野の情報交換を進める。

3 市民交流の推進

市民が相互に訪問しさまざまな事業に参加できるよう、市民向け情報提供の充実に努める。

4 双方の交流と協力を継続していくため、杭州市政府は担当部として杭州市外事弁公室を指定し、札幌市は総務局国際部を指定する。

5 本協議書は一式2部とし、それぞれ日本語、中国語の2ヶ国語で作成し、調印の日から効力を有する。両国語は共に正本である。

2004年7月30日

日本国
北海道札幌市
市長

上田 文雄

中華人民共和国
浙江省杭州市
人大常委会主任

王 国平

札幌市「ライラックまつり」・大連市「アカシアまつり」 まつり交流協定書

札幌市の「ライラックまつり」と大連市の「アカシアまつり」は、共に毎年5月に「花・木」を題材にしたまつりを開催している。国際観光都市として成長する可能性を持った両市において、観光発展をさらに推進するため、平等互恵の原則に基づき、双方のまつりは今後下記のとおり交流を進めることを目的として、ここに協定書を調印する。なお、この協定書は、調印してから5年間有効であり、双方のうちいずれかが協定の継続が不可能であることを表明しない限りは、自動的に延長されるものとする。

1 札幌市の「ライラックまつり」及び大連市の「アカシアまつり」を通じ、相互の観光交流を推進する。

2 双方のまつりを通じて、まつりに関連した文化交流を行い、両市のまつりの発展に努める。

3 両市の市民が相互に訪問し、さまざまな事業への参加や交流を通じて、双方の観光の発展を推進する。

4 双方のまつりにおいて、相手方のまつりや都市の観光情報をPRする場を設け、市民の理解促進に努める。

5 双方の交流を継続していくため、札幌市は担当部として観光文化局観光部を指定し、大連市政府は大連市旅游局を指定する。

6 本協定書は一式2部とし、それぞれ日本語、中国語の2ヶ国語で作成し、調印の日から効力を有する。両国語は共に正本である。

2008年8月28日

日本国
北海道札幌市
市長

上田 文雄

中華人民共和国
遼寧省大連市
市長

夏 徳仁

札幌市と高雄市との観光交流に関する覚書

札幌市と高雄市（以下「双方」という）は、都市間で緊密な交流や協力による互恵関係の構築を目指し、次のとおり覚書を締結する。

1 双方は観光に関する情報交換を通じて、相互送客の規模拡大に向けた協議を行っていく。

2 双方の都市が持つスポーツや環境、交通などの資源を通じて、相互の集客交流人口の拡大、都市の魅力向上に資する取組の創造に両都市が努めていく。

3 双方の交流を継続していくため、札幌市は窓口として経済観光局観光・MICE推進部を指定し、高雄市政府は高雄市観光局観光マーケティング課を指定する。なお、特定の分野に限定した協議については、個別に担当部での対応とする。

4 本覚書は、日本語と中国語の各2部を作成して、双方が各1部を保有する。どちらも共に正本であり、調印の日から効力を有する。

5 本覚書に記載されていない事項が発生した場合、双方は友好交流の精神に基づいて、これに対処する。

署名人
札幌市経済観光局観光・MICE担当局長
青山 智則

署名人
高雄市政府観光局 局長
高関琳

2023年3月16日

札幌市 釜山広域市

了解覚書（MEMORANDUM OF UNDERSTANDING）

日本国札幌市と大韓民国釜山広域市は、両市の経済産業の一層の発展に向けて、下記の内容で映像産業振興の分野において、相互に協力していくことを確認し、覚書を締結いたします。

<序文>

両市は、大韓民国と日本の映像制作者にとって新しい道筋をつくるための協力関係を構築する。
両市は、世界共通の芸術文化として認知、評価される映像産業の振興に向けて、そのビジョンを共有する。
両市は、この映像産業振興分野における相互連携が、各々の地域はもちろん、大韓民国・日本両国、そして世界的にも商業的、技術的、そして文化的な交流の促進に繋がると確信する。
両市は、主に以下3部門において連携し、両国の映像産業の発展に寄与する協力関係を構築していく。

映像教育・人材育成
国際共同制作
国際共同映像流通

<目的>

両市は、お互いの文化を交流・結合させ、新たな作品制作の機会を増やすよう努力する。
両市の映像制作者により、伝統文化・歴史・自然等を題材にした映像が数多く輩出されるよう、その制作活動、上映活動を協力して支援する。
両市は、国際情勢や映像産業の技術革新・市場変化に柔軟に対応して、この協力関係を運用する。
両市は、この連携がお互いの地域経済振興に繋がるように努力する。
両市は、この連携がお互いの地域の映像制作者、映像産業の発展に繋がるように努力する。

<目的達成に向けての具体策>

両市は、この覚書の範囲に基づき、共有するビジョンの推進に向けて提供可能な範囲内において協力関係を継続・拡大し、協力的プロジェクトを実施する。

1 映像教育・人材育成

・両市は、お互いの地域における映像教育、人材育成において、人的交流・企画交流を推進し、相互理解の促進を深めるのと同時に、将来的な国際協同制作促進にむけての基盤整備を行う。

2 国際共同制作

・両市は、お互いの地域の映像制作者による共同制作機会増加を目指し、お互いの地域で支援している制作支援事業を相互に適用する。
・両市は、制作や上映に関わる技術革新情報の共有を進める。

3 国際共同映像流通

・両市は各々の地域において、お互いの地域の映像制作者、あるいは共同制作された映像作品の流通促進に向けて努力する。
・札幌国際短編映画祭と釜山国際映画祭・釜山アジア短編映画祭において、お互いに作品を推薦し合い、上映機会増加に向けて努力するとともに、相互の映画祭プロモーションを実施する。
・両市は、この連携を自国内、及び世界の映像産業界に対して広報宣伝する。

4 その他

・本覚書は署名の日から効力を有するが、法的拘束力はなく、両市に対していかなる法的権利や法的責任も発生させない。また両市は、この覚書を根拠とした法的請求は行使出来ない。
・本書は、日本語と韓国語の各2部を作成し、各々保管するものとする。

2008 年 10 月 4 日

日本国 札幌市
市長 上田 文雄
代理 経済局長
井上 唯文

大韓民国 釜山広域市
市長 許 南植
代理 文化体育観光局長
金 亨洋

札幌市と香港貿易發展局との相互協力に関する覚書

日本国札幌市と香港貿易發展局(以下「両者」とする)は、札幌市と香港間の貿易や相手地域への事業展開などの経済交流を一層促進するため、相互に支援・協力することについて合意した。

合意内容は下記条項のとおりである。

第1条

両者は、両地域の貿易・ビジネス関係の発展のため最大限の支援に努めるとともに、重要な経済や貿易に関する情報について共有を図る。また、両地域の経済交流を推進するため、それぞれの地域に属する企業に対し、産業情報の提供やビジネス交流の機会を適宜設け、ビジネス関係構築を支援するために最善を尽くすこととする。

第2条

両者は見本市・展示会や商談会等を自己の地域内又は、相手方の地域内において開催するときは、相互に協力をする。両者は、特に食品関連産業とコンテンツ産業の分野において、企業間の連携と相互交流の促進に努める。

第3条

両者は、産業使節団が来訪した際には、双方の産業や企業、関係機関を紹介すること等、適切な支援を行う。

第4条

本覚書の改正または補足が必要な場合、両者による協議・同意の上、それぞれが書面に署名を行うものとする。

第5条

本覚書は、日本語及び英語で作成された各2部(それぞれが日本語、英語各1部づつを保有)を正本とし、2014 年8月 14 日、両者の代表による署名をもって効力が発生し、2年間効力を有する。本覚書を改正または補足する場合は、両者による協議・同意の上、それぞれが書面に署名を行うこととする。

本覚書は、有効期間が終了する日の2ヶ月以上前までに、一方が相手方に書面をもって合意書を終了する旨を通知する場合を除き、その有効期間を1年間自動的に延長するものとする。

香港貿易發展局総裁
林天福

日本国 札幌市長
上田 文雄

日本国札幌市と中華人民共和国青島市との 経済協力パートナーに関する覚書

日本国札幌市と中華人民共和国青島市(以下「双方」と称す)は、経済や貿易に関する緊密な協力を通じた互惠関係の構築をめざし、次の通り覚書を締結する。

一、双方は貿易と投資に関する情報交換を実施し、貿易規模拡大に向けて相互に協力する。双方は相互訪問やビジネスセミナー、商談会等の経済交流が円滑に実施されるよう、可能な限り協力に努める。

二、双方は、両市内の企業等が相手方へ投資活動を行う際、その投資活動を支援する。また、投資後に円滑な経営活動が行われるよう協力に努める。なお、農水産品、食品加工、物流、観光、IT、環境、高齢者/福祉などを重点分野とする。

三、双方は札幌市経済局と青島市商務局を本覚書に関する連絡窓口とし、具体的な協力事項について協議・推進する。

四、本覚書は調印日より、効力を有するが、法的拘束力はなく、双方に対していかなる法的権利や法的責任も発生させない。また、双方はこの覚書を根拠とした法的請求を行使できない。双方のいずれかが締結関係解消を希望する場合、関係解消予定日から起算して 90 日前までにその旨を書面で相手方に通知しなければならない。

五、本覚書は、日本語と中国語の各 2 部を作成して、双方が各 1 部を保有する。両国語の覚書は共に正本として同等の効力を有する。

六、本覚書に記載されていない事項が発生した場合、双方は友好交流の精神に基づいてこれに対処しなければならない。

2015 年 11 月 16 日

札幌市経済局
局長 荒井 功

青島市商務局
局長 馬 衛剛

2 多文化共生

(1) 在住外国人の現況

ア 人口トレンド

2016 年ころから毎年 1,000 人程度のペースで外国人市民が増加しており、2020 年 2 月に 15,073 人と当時のピークに到達。その後、新型コロナウイルス感染症の流行に伴って減少傾向が続き、2022 年 4 月には 13,095 人にまで減少したが、国の水際対策緩和に伴って再び増加傾向となり、2024 年 6 月には過去最多の 18,983 人となった。

イ 在留資格の変化

「技能実習」及び 2019 年 4 月に創設された「特定技能」の在留資格をもつ外国人が増加している。

「技能実習」においては、本来の目的と実態がかけ離れている等の指摘があり、2024 年 6 月に技能実習に代わる「育成就労」を新設する法案が成立した。2027 年までに新制度に移行する予定であり、新制度では監理団体の許可基準の厳格化や、条件付きで転籍が容認されるほか、「特定技能 1 号」と対象業種が同じになる。

また、「特定技能」においては、2023 年 8 月に、熟練した技能をもつ「特定技能 2 号」の対象業種が 2 業種から 11 業種に拡大。さらに 2024 年 3 月には「特定技能 1 号」の対象業種が 4 業種追加されることが閣議決定した。

以上により、今後は在留期間の長期化（永住化）や、家族帯同が増加する見込みである。

ウ 国籍の変化

近年、ベトナムやミャンマー、インドネシアなど、東南アジア諸国からの流入が増加している。

(2) 生活支援・コミュニケーション支援

ア 2023 年度事業概要

事業名	多文化共生推進事業	総務局 国際部 交流課
趣旨・概要	国籍や文化的背景などの違いに関わらず、日本人市民も外国人市民も誰もが不便や不安を感じることなく、安心して暮らすことのできる多文化共生社会を実現する。	
2023 年度 事業実績	(1) さっぽろ外国人相談窓口 在留資格、子育て・教育、医療、雇用など暮らしに関わる情報提供や相談を多言語で行う総合相談窓口。不安や問題を抱える外国人がその解消に向けて自ら行動できるよう、関係する機関と連携を図りながら対応する。また、札幌市や国などの関係機関が発出する情報を必要に応じて多言語化し発信することで、外国人に必要な情報を届ける。 《概要》 ・開設：2019 年 11 月 28 日（木） ・場所：札幌国際プラザ ・対応方法：来館、電話、メールなど ・相談員による対応言語：やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語 ※その他の言語は電話通訳を利用（21 言語に対応） ※年 6 回、弁護士や行政書士、税理士等の専門家が一堂に会する無料相談会を実施 (2) 行政サービスの多言語発信・やさしい日本語の活用 外国人の不便不安を軽減し、孤立を防止するための行政サービスの多言語発信と“やさしい日本語”の活用。 ○さっぽろ外国人相談窓口ホームページの運用（2021 年 3 月公開） 相談窓口に寄せられる相談実績等を踏まえて相談窓口ホームページを構築し、暮らしにかかわる情報を一元的に発信。（やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語） ○やさしい日本語の活用 ・新採用職員テキストに「やさしい日本語」のコラムを掲載。（2022 年度から継続） ・2022 年度、札幌国際大学及び札幌国際大学短期大学部と札幌市及び札幌国際プラザの 4 者により「国際交流・多文化共生の推進に関する連携協定」を締結し、大学の協力のもと、外国人市民の日本語能力調査を実施した。その後、2024 年 3 月に「札幌市やさしい日本語ガイドライン」を策定した。	

	(3) コミュニティ通訳の育成 区役所等の行政窓口や学校、保育所などの依頼に応じて、行政手続きや懇談等のコミュニケーション支援を行う外国語通訳ボランティアの育成・派遣を行っている。 ・2023 年度：237 件派遣 (4) 日本語学習支援 札幌で暮らす日本語初学者を対象に、日常・社会生活上必要な初級日本語を学ぶ連続講座「はじめてのにほんごくらす」を開催。同時に、日本語を教える日本語学習支援ボランティアを育成し、同事業にサポーターとして参加している。 ・2023 年度：「はじめてのにほんごくらす」を年 2 コース、各 6 回開催 (5) 生活ルール・法令理解促進 新着外国人向けに、日本や札幌で暮らすための生活ルール、生活習慣等を学ぶオリエンテーションを、実地講座も交えながら開催。 ・2023 年度：生活オリエンテーションを春と秋の 2 回開催 (6) 医療通訳派遣制度の整備 病院受診時の外国人ならではの不便不安を解消するための仕組みを構築し、外国人患者の受入れ体制を整備。 ○札幌メディカルコミュニケーションホットライン 外国人がスムーズに医療へアクセス出来るようにするため、医療機関への問い合わせ・予約代行、医療通訳者の派遣調整、電話通訳の提供を一体的に実施。 ・2023 年度（6 月～）：外国人患者の予約・問合せ代行 583 件 （うち、受診時の電話通訳 69 件、同行通訳 67 件） (7) 異文化理解促進 地域における交流の促進 国際交流や国際協力を通じて、市民の海外への関心度を高めるとともに、多様な文化を尊重し、多文化共生意識の醸成に取り組む。 ・姉妹都市・韓国の大田市とは、例年小・中・高校生を対象としたオンライン学校交流を行っている。 (8) 災害時の外国人対策 外国人の防災意識の啓発や、2020 年度に発足した外国人市民を中心とした有償ボランティアグループ「札幌災害外国人支援チーム（SAFE）」の育成・認定により災害時の避難所巡回や情報発信、相談対応を強化する。 ・2023 年度 第 4 期メンバー 6 人を認定 ・2023 年 9 月 幌西地区連合町内会の防災訓練に参加 施策展開にあたっては、関係機関や近隣自治体、外国人支援団体等と連携した取組が求められる。また、外国人相談窓口の活用をはじめとして、多言語による情報発信や日本語習得支援をはじめとするコミュニケーション支援を強化していく必要がある。 今後も、札幌に暮らす外国人が安心・安全に暮らせるような仕組みづくりを行うほか、庁内における窓口対応力の強化や、外国人との交流機会の創出により、多文化共生への意識醸成を図っていく。
--	---

事業名	札幌市公式ホームページの「自動翻訳機能」導入による多言語対応	総務局 広報部 広報課
趣旨・概要	平成 30 年 9 月に発生した北海道胆振東部地震の際、外国人が公式ホームページから最新の情報をリアルタイムで確認できないといった課題が顕在化した。これを解消するため、日本語で作成したホームページのテキスト文を外国語へ自動翻訳する機能を導入した（令和元年 9 月導入）。 当該機能の導入により、外国人が災害時の情報をリアルタイムで確認できるほか、平常時においても、市の制度やイベント情報、施設案内、交通情報等を札幌市公式ホームページから確認できるようになった。	
2023 年度事業実績	外国籍市民や外国人観光客が、市の制度やイベント情報、施設案内、災害関連情報等を札幌市公式ホームページから確認できるよう、日本語で作成したホームページのテキスト文を外国語へ自動翻訳する機能を提供するもの。英語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、ハングルに対応。	

事業名	札幌市公式 LINE 情報配信システムの多言語対応		総務局 広報部 広報課
趣旨・概要	外国人にとって暮らしやすい街を目指すため、外国人市民が必要とする生活情報や市政情報をわかりやすく発信する。		
2023 年度 事業実績	対応言語	英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル、ベトナム語、ビルマ語、インドネシア語、ネパール語、タガログ語	
	事業内容	札幌市公式 LINE アカウントでの情報発信において多言語で配信できるシステムを導入した。	

事業名	札幌市コールセンター運営業務における多言語対応		総務局 広報部 市民の声を聞く課
趣旨・概要	多言語対応により、外国籍市民や観光客が、市の制度、イベント情報、施設案内、交通案内等の不明点・疑問点に対し、母国語で手軽に情報を得ることができるようにする。 国籍や言語を原因とした情報格差を解消し、外国籍市民の方がまちづくりに参画しやすい環境を目指す。 また、外国人観光客が安心できる環境を提供し、観光地としての札幌の評価を高めることを目指す。		
2023 年度 事業実績	札幌市コールセンターにおいて、市の制度、イベント情報、施設案内、交通案内等の不明点・疑問点に対し、手軽に情報を得ることができるよう日本語だけではなく、英語・中国語・ハングルにも対応する。 ＜対応可能時間＞英語・中国語・ハングル：8時から21時まで（年中無休） ＜対応件数＞英語 104 件、中国語 25 件、韓国語 6 件		

事業名	地域連携促進事業		市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課																												
趣旨・概要	本事業はまちづくりのスキル等を有する NPO を地域に紹介・派遣し、NPO と地域との間に新たな協力関係の構築を促すもの。派遣により事業を行った NPO 団体へ 1 回上限 5 万円までの補助金を、地域へは 1 回 5 千円の報償費を交付している。 R5 年度は 10 つの NPO を地域に紹介しており、そのうちの 1 つの「特定非営利法人 フレンドズキャラバン」は地域児童及び住民の国際交流の機会の促進を目指している団体であり、R5 年度は 7 回地域に派遣されている。 ※本回答は主に「フレンドズキャラバン」の活動について回答する。																														
2023 年度 事業実績	事業内容：地域の子供たちを対象とした外国人留学生等との交流イベント <table border="0"> <tr> <td>①実施日：R5. 10. 22</td> <td>実施地域：石山地区町内会連合会</td> <td>外国人：4 名</td> <td>補助額：43 千円</td> </tr> <tr> <td>②実施日：R5. 10. 29</td> <td>実施地域：菊水上町第 5 町内会</td> <td>外国人：4 名</td> <td>補助額：47 千円</td> </tr> <tr> <td>③実施日：R5. 12. 9</td> <td>実施地域：藤ヶ丘西町内会</td> <td>外国人：4 名</td> <td>補助額：42 千円</td> </tr> <tr> <td>④実施日：R5. 12. 22</td> <td>実施地域：澄川南町内会</td> <td>外国人：4 名</td> <td>補助額：49 千円</td> </tr> <tr> <td>⑤実施日：R5. 12. 23</td> <td>実施地域：中の島二区第 2 町内会</td> <td>外国人：4 名</td> <td>補助額：42 千円</td> </tr> <tr> <td>⑥実施日：R6. 1. 23</td> <td>実施地域：しなの児童会館</td> <td>外国人：4 名</td> <td>補助額：49 千円</td> </tr> <tr> <td>⑦実施日：R6. 2. 24</td> <td>実施地域：澄川第 2 町内会</td> <td>外国人：4 名</td> <td>補助額：49 千円</td> </tr> </table> 実施回数：7 回、外国人：延べ 28 名、補助額：321 千円			①実施日：R5. 10. 22	実施地域：石山地区町内会連合会	外国人：4 名	補助額：43 千円	②実施日：R5. 10. 29	実施地域：菊水上町第 5 町内会	外国人：4 名	補助額：47 千円	③実施日：R5. 12. 9	実施地域：藤ヶ丘西町内会	外国人：4 名	補助額：42 千円	④実施日：R5. 12. 22	実施地域：澄川南町内会	外国人：4 名	補助額：49 千円	⑤実施日：R5. 12. 23	実施地域：中の島二区第 2 町内会	外国人：4 名	補助額：42 千円	⑥実施日：R6. 1. 23	実施地域：しなの児童会館	外国人：4 名	補助額：49 千円	⑦実施日：R6. 2. 24	実施地域：澄川第 2 町内会	外国人：4 名	補助額：49 千円
①実施日：R5. 10. 22	実施地域：石山地区町内会連合会	外国人：4 名	補助額：43 千円																												
②実施日：R5. 10. 29	実施地域：菊水上町第 5 町内会	外国人：4 名	補助額：47 千円																												
③実施日：R5. 12. 9	実施地域：藤ヶ丘西町内会	外国人：4 名	補助額：42 千円																												
④実施日：R5. 12. 22	実施地域：澄川南町内会	外国人：4 名	補助額：49 千円																												
⑤実施日：R5. 12. 23	実施地域：中の島二区第 2 町内会	外国人：4 名	補助額：42 千円																												
⑥実施日：R6. 1. 23	実施地域：しなの児童会館	外国人：4 名	補助額：49 千円																												
⑦実施日：R6. 2. 24	実施地域：澄川第 2 町内会	外国人：4 名	補助額：49 千円																												

事業名	クラウド型収蔵品管理システム 「ポケット学芸員」運用		市民文化局 市民生活部 アイヌ施策課
趣旨・概要	アイヌ施策推進地域計画において札幌市アイヌ文化交流センターリフレッシュ事業の一つとして、展示案内の多言語化を実施。市民や国内外の人々がアイヌ文化について理解を深める手段の一つとして、多言語による解説を提供することができるクラウド型収蔵品管理システム「ポケット学芸員」を令和2年3月から運用している。		
2023年度 事業実績	対応言語	日本語、英語、中国語（簡体字）、ハングル	
	事業内容	アイヌ文化交流センターの収蔵品についての解説について多言語化対応を実施。多言語による解説を提供することができるクラウド型収蔵品管理システム「ポケット学芸員」を運用することで、展示解説プレート（キャプション）に書ききれない情報の提供が可能となり、来館者はもちろんのこと、国内外の人がアイヌ文化について興味、理解を深めるツールとして運用している。	

事業名	外国人患者受入れ医療機関確保事業		保健福祉局 保健所 医療政策課
趣旨・概要	夜間・休日等における外国人患者の受け入れを円滑にし、安心して医療が受けられる体制を構築するため、札幌市と札幌東徳洲会病院にて協定を締結し、平日17時から翌朝9時、土日祝日の9時から翌朝9時の間に直接来院した外国人患者や札幌市内の医療機関・救急隊からの受入要請のあった患者の受入れ対応を行っている。		
2023年度 事業実績	事業内容	札幌市と札幌東徳洲会病院にて協定を締結し、平日17時から翌朝9時、土日祝日の9時から翌朝9時の間に直接来院した外国人患者や札幌市内の医療機関・救急隊からの受入要請のあった患者の受入れ対応を行っている。 2023年度（令和5年度）は協定による夜間、休日等の受入患者数は1,111人（2022年度1,387人）であった。また、中国語、英語、ロシア語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語、モンゴル語、スペイン語、フランス語、タガログ語、クメール語に対応した。	

事業名	救急安心センター推進事業（多言語対応）		保健福祉局 保健所 医療政策課
趣旨・概要	救急安心センターさっぽろは、急な病気やケガなどの救急医療相談に対応し、救急車の利用や医療機関の受診の可否など緊急度を判定する電話相談窓口である。平成 28 年 10 月から 3 者間通話による英語、中国語、韓国語、ロシア語、タイ語、マレー語の 6 か国語、令和 4 年 8 月から 6 か国語に加え、ベトナム語、タイ語、フランス語、ドイツ語等計 21 か国語の対応を行っている。また、令和 2 年 2 月から令和 5 年 5 月 7 日まで、新型コロナウイルス感染症に対応するため、発熱等があった際の相談窓口として、受診・相談センターの役割も兼ねて実施。		
2023 年度 事業実績	使用言語	日本語、英語、中国語（北京語）、韓国語、ベトナム語、タイ語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、タガログ語、インドネシア語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、マレー語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語	
	事業内容	救急安心センターさっぽろにおいて、24 時間 365 日、電話による医療相談に対応している。 (1) 救急医療相談 急な病気やケガなどの救急医療相談に看護師が対応し、救急車の利用、医療機関の受診など緊急度を判定する。 (2) 医療機関案内 診察時間中の医療機関や休日当番医療機関等を案内 2023 年度（令和 5 年度）の救急医療相談・医療機関案内の相談総数 123,309 件のうち、英語での対応が 490 件、中国語 116 件、その他の言語 97 件、合計 703 件（2022 年度 258 件）であった。	

事業名	医療英語・医療通訳セミナーの実施		保健福祉局 保健所 医療政策課
趣旨・概要	札幌市において、外国人が言葉の壁を越えて安心して医療を受けることができるよう、医療の分野における専門的な知識や通訳技術を習得した通訳者、外国語でのコミュニケーションが可能な医療人材などの担い手の育成を図るため、公益財団法人札幌国際プラザと連携し、2016 年度（平成 28 年度）より医療英語・医療通訳セミナーを共催している。		
2023 年度 事業実績	実施日・回数	1. 医療従事者向け医療英語セミナー（計 4 回） 病院で働く人のための簡単な英会話【基礎編】（8 月 10 日開催） 病院で働く人のための簡単な英会話【練習編】（8 月 26 日開催） 病院で働く人のためのシーン別英会話【診療放射線編】（12 月 1 日開催） 病院で働く人のためのシーン別英会話【入院編】（12 月 15 日開催） 2. 医療通訳セミナー（11 月 5 日開催：計 2 回）	
	事業内容	公益財団法人札幌国際プラザと連携し、2016 年度（平成 28 年度）より、医療英語・医療通訳セミナーを共催している。2023 年度（令和 5 年度）は、以下のセミナーを開催した。 (1) 医療従事者向け医療英語セミナー 医療機関で働く人を対象に、外国人患者に対応する際に便利な多言語問診票や翻訳ツール等を紹介する「基礎編」や現場で利用できる簡単な英会話表現を学ぶ「診療放射線編」「入院編」、ロールプレイなどを通じたより実践的な「練習編」を開催し、計 99 名（計 4 回）の受講があった。 (2) 医療通訳セミナー 医療通訳に興味のある人を対象に医療通訳の基礎知識やロールプレイによる実践的な練習を実施し、計 37 名（計 2 回）の受講があった。	

事業名	住所異動・マイナンバーカード窓口における外国人対応の円滑化	豊平区 市民部 戸籍住民課
趣旨・概要	戸籍住民課窓口において、日本語に不慣れな外国人との円滑なコミュニケーションを図ることによって、誤りのない確実な事務処理（必要事項の聞き取り、必要書類の提出等）を実施する。	
2023 年度 事業実績	国外転入等の住所異動、マイナンバーカードの申請・受取り等に必要な内容を聞き取るため、英語・韓国語・中国語・ベトナム語の4ヶ国語で、定型的な質問文（住所異動12問・マイナンバーカード48問）を作成し、各窓口に配備した。	

事業名	留学生支援団体への自転車譲渡事業		建設局 総務部 自転車対策担当課		
趣旨・概要	地下鉄駅駐輪場等に長期放置された自転車を、保管期間の経過後本市が取得し、留学生支援団体等を通じて留学生に無償で譲渡しているもの。 留学生の生活利便向上を図る目的で年2回実施している。				
2023 年度 事業実績	実施日	第1回 5月21日～22日 第2回 10月15日～16日			
	譲渡実績	〈2023 年度（令和5年度）譲渡台数〉			
		相手方	第1回	第2回	合計
		駐札幌大韓民国総領事館	4 台	4 台	8 台
		札幌日中友好協会	20 台	23 台	43 台
		札幌ランゲージセンター	25 台	18 台	43 台
		北海道中国会	9 台	9 台	18 台
		学校法人 吉田学園	2 台	1 台	3 台
	譲渡台数計	60 台	55 台	115 台	

事業名	就学相談コーナーの設置	教育委員会 児童生徒担当部 学びの支援担当課
趣旨・概要	札幌市に在住している外国籍を有する子どもの、札幌市立小・中学校への就学手続きを行っている。	
2023 年度 事業実績	利用受付件数 79件	

事業名	札幌市帰国・外国人児童生徒教育支援事業		教育委員会 学校教育部 教育課程担当課
趣旨・概要	札幌市立小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校に在籍する、日本語指導等が必要な帰国・外国人児童生徒に対する支援の充実を図るため、指導協力者の派遣による教育支援を行う。		
2023 年度 事業実績	対象者	札幌市立小学校、中学校、中等教育学校、高等学校に在籍する日本語指導等が必要な帰国・外国人児童生徒	
	実施回数	6,596 回の支援	
	参加人数	156 名（うち外国人参加者数 130 名）	
	事業内容	日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒に対して、日本語指導を行う指導協力者（有償ボランティア）を在籍校へ 1 回につき 2 時間以内、週 2 回を目安に派遣し、日本語指導の支援を実施している。	

事業名	文化・社会・教育施設等の留学生に対する無料開放等	各対象施設担当課
趣旨・概要	留学生との交流は、将来に渡って本市と諸外国との友好・親善と相互理解を深めるうえで極めて重要な意義を持つものであり、本事業は、札幌に優秀な留学生を惹きつけるとともに、留学生の地域、文化理解を促進することを目的としている。 札幌市内又は近郊の大学、高等専門学校又は専修学校に通い、「留学」の在留資格を有する外国人留学生に次の施設を開放している（但し、条件・対象は施設により異なる）。 <対象施設> 円山動物園 札幌芸術の森 本郷新記念札幌彫刻美術館 札幌国際交流館	

(3) 国際感覚豊かな人材の育成・活用、異文化理解の促進

ア 2023 年度事業概要

事業名	札幌市外国人学校補助金交付事業	総務局 国際部 交流課
趣旨・概要	民族・国籍を問わず、札幌市に暮らす未来を担う子ども達の健やかな成長を願い、市民が異文化に対する理解を深め互いを尊重し合う意識を醸成するとともに、外国籍市民が札幌市民とともに能力を発揮し協力し合う社会をめざし、外国人学校に補助金を交付する。 補助の対象となる事務又は事業は、外国人学校が行う次に掲げる事務又は事業。 (1) 教材・教具並びに教育備品及び学校備品の整備 (2) 外国人学校が実施する活動及び行事のうち、児童又は生徒の市民との交流又は本市内の他の学校との交流に資するもの	
2023 年度 事業実績	市内にある外国人学校2校（北海道インターナショナルスクール・北海道朝鮮学園）に対し、外国人学校に通う子ども達の教育環境の整備及び外国人学校が行う地域社会又は他の学校との交流の取組を支援するため、補助金を交付した。	

事業名	白石区子どもワンダーランド	白石区 市民部 地域振興課
趣旨・概要	白石区内の子どもたちが札幌市に滞在している外国人（留学生、JICA 研修員）と、ゲームや食事を通して諸外国の異なる文化・習慣・考え方を体験し、国際親善の大切さを学ぶ機会を提供する。 平成 17 年から実施。白石区ふるさと会と白石区が主催し、白石区市民部地域振興課が実行委員会事務局となっている。	
2023 年度 事業実績	対象者	札幌市在住の外国人（留学生、JICA 研修員）、白石区内在住の小学生
	実施日	10 月 21 日
	参加人数	145 名（うち外国人参加者数 31 名）
	事業内容	留学生と JICA 研修員が、白石区内の小学生と交流するイベントを実施した。じゃんけん列車などのゲーム、サイン集め、おやつタイム、ダンスなどを行い、交流を深めた。

事業名	さっぽろ市民カレッジ		教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進課
趣旨・概要	市民のさまざまな学習ニーズに対応し、総合的かつ継続的に学べる場や、学んだ成果をまちづくり活動や産業の振興につなげていくことを目的として、さっぽろ市民カレッジを開設しており、その中で、「国際理解・世界」コースを中心に、外国の文化や言語について学び、国際交流等に興味を持つきっかけづくりとなる講座を実施した。		
2023 年度 事業実績	【講座名】	【実施期間】	【受講者数】
	1. 旅に役立つ泊まれる世界遺産ガイド	5 月 22 日～6 月 19 日	13 名
	2. 学び直しの「英文法」	9 月 1 日～9 月 29 日	20 名
		2 月 13 日～3 月 12 日	15 名
	3. タイの言語と文化を学ぼう！	10 月 11 日～12 月 6 日	25 名
	4. 日曜音楽サロン	11 月 5 日～12 月 3 日	20 名
	5. タイ語を話そう	11 月 14 日～12 月 12 日	18 名
	6. イタリア語超入門	11 月 15 日～12 月 13 日	11 名
	7. イタリアの言語と文化を学ぼう！	12 月 13 日～2 月 28 日	26 名

3 国際戦略

(1) 経済の国際化

ア 2023 年度（令和 5 年度）事業概要

事業名	食の輸出拡大支援事業	経済観光局 産業振興部 産業振興課
趣旨・概要	食関連企業の国内外への販路拡大を目的に、官民連携による商談機会の創出や、海外進出に取り組む企業へのニーズに応じた支援を実施する。	
2023 年度 事業実績	実施日	2005 年度（平成 17 年度）～
	対象国 対象都市	アジア、北米など
	事業内容	以下の取組により、市内食関連企業の国内外への販路拡大を支援した。 ・官民連携の実行委員会による、展示商談会等への出展支援や商談会の開催等 ・北海道と連携した、ASEAN 諸国やアジア、欧州を対象地域とした輸出促進

事業名	海外展開支援事業	経済観光局 経済戦略推進部 経済戦略推進課
趣旨・概要	- 海外展開支援事業 市内事業者の海外展開の実現を目指し、各社の展開フェーズに応じた海外ビジネス専門家をマッチングさせ、計画策定やマーケット分析などのコンサルテーションを提供する。 - ミュンヘン市との姉妹都市交流 札幌市とミュンヘン市が連携し、経済交流事業を実施することで、両市の交流拡大・振興を図るとともに、札幌市内企業の海外販路開拓、海外展開を支援する。 - ベトナムとの経済交流 札幌市とベトナムが連携し、経済交流事業を実施することで、双方の交流拡大・振興を図るとともに、札幌市内企業の海外販路開拓、海外展開を支援する。	
2023 年度 事業実績	実施日	4 月 3 日～3 月 31 日 11 月 27 日～12 月 24 日 11 月 16 日～11 月 20 日
	対象国 対象都市	- 全世界 - ドイツ・ミュンヘン市 - ベトナム
	参加人数	- 外部委託 - 現地イベントブースに出展 〃
	事業内容	- さっぽろ産業振興財団の補助金事業として、市内事業者の海外展開の実現を目指し、各社の展開フェーズに応じた海外ビジネス専門家をマッチングさせ、計画策定やマーケット分析などのコンサルテーションを提供。 - ミュンヘン市のクリスマスマーケットにおいて姉妹都市ブースを出展。物産販売及びシティプロモーションを行った。 - ビジネスフォーラム・ビジネスミッションの実施。

事業名	海外投資誘致事業		経済観光局 経済戦略推進部 経済戦略推進課
趣旨・概要	海外からの高度な人材・技術・豊富な資金を呼び込むことで、イノベーション創出や海外経済の活力の地方への取り込みにつなげ、日本経済全体の成長力の強化や地域経済の活性化に貢献する。		
2023 年度 事業実績	実施日	1. 11月14日～11月17日 2. 3月19日～3月22日	
	参加人数	現地展示会ブースに出展	
	事業内容	1. ドイツ・ミュンヘン市で開催された、半導体に関する展示会「Productronica」にブース出展し、札幌市のビジネス環境や住環境、魅力について PR を実施した。開催期間中には秋元市長が登壇し、札幌の PR を行った。出展時には現地経済団体等とも面談し、札幌市への企業誘致に向けた意見交換を行った。 2. 台湾・台北市で開催された「Smart City Summit&Expo」にブース出展し、札幌市のビジネス環境や住環境、札幌市の魅力について PR を実施した。出展時には現地経済団体等とも面談し、札幌市への企業誘致に向けた意見交換を行った。	

事業名	Hokkaido Innovation Week の開催		経済観光局 経済戦略推進部 イノベーション推進課
趣旨・概要	北欧を中心とした海外エコシステムとの連携を強め、互いの顔が見える信頼に基づくスタートアップコミュニティを形成するための国際カンファレンス。 会場：さっぽろテレビ塔、北海道電力株式会社本社、北海道大学など 主催：STARTUP HOKKAIDO 実行委員会		
2023 年度 事業実績	実施日	1月29日～2月2日	
	対象国 対象都市	北欧を中心とした 30 か国以上から来日	
	参加人数	のべ1,000 人	
	事業内容	起業家が創業初日から世界市場を見据えるために「グローバル・マインドセット」を養うきっかけとなるべく、世界各国からスタートアップ、投資家、スタートアップ支援機関を招聘し、スタートアップと支援者との繋がり作りやスタートアップのビジネス育成を目指したイベント。 「Regeneration」をテーマとし、事業拡大だけではなく、地域社会の将来と社会課題の解決も視野に入れた道内企業との連携、道内スタートアップの育成、海外スタートアップの招聘を行った。	

事業名	札幌国際短編映画祭（SAPPORO ショートフェスト）		経済観光局 経済戦略推進部 イノベーション推進課
趣旨・概要	短編映画（ショートフィルム）の産業化などのため、短編映画の映像・映画関係者が参加できるマーケットを併設した国際コンペティションとして世界各国からショートフィルム（30分以内と規定）を募集し、平成18年より短編映画祭を開催。		
2023年度 事業実績	開催期間	オンライン配信上映：12月8日～1月5日 劇場上映：11月23日～11月26日	
	事業内容	世界各国から短編映画（ショートフィルム）を募集し短編映画祭を開催。ノミネート作品の上映を行うとともに、海外からも映画関係者、アーティストを審査員として招き、アワード（賞）の授与を行う。協力関係にある海外映画祭との連携により、各国の特別プログラムを上映している。また、映画祭開催期間中には国内外から多くのフィルムメーカー（監督）、映画関係者が札幌に滞在し、セミナー、フォーラム、上映前の監督舞台挨拶等を通じた、地元市民との国際文化交流の機会を提供している。 令和4年度に引き続きオンライン配信と劇場上映のハイブリッドで開催。	

(2) 観光 PR

ア 2023 年度事業概要

事業名	アジア向けプロモーション		経済観光局 観光・MICE 推進部 観光・MICE 推進課
趣旨・概要	現地旅行博への出展による一般消費者に向けた札幌の観光の魅力の PR や、現地旅行会社の招請事業、スキーをテーマとした招請事業を実施した。		
2023 年度 事業実績	対象国 対象都市	韓国・中国・香港・台湾・タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン・ベトナム	
	事業内容	- 韓国現地旅行博（BITF（釜山国際観光展））への出展 実施期間：令和 5 年 10 月 5 日～8 日 実施内容：釜山にて開催された釜山国際観光展（BITF）に出展し、現地の一般消費者に向けて、札幌の観光の魅力を PR した。 - 台湾現地旅行博（ITF（台北国際旅行博））への出展 実施期間：令和 5 年 11 月 3 日～6 日 実施内容：台湾国際旅行博（ITF）に出展し、現地一般消費者に向けて札幌の観光の魅力を PR するとともに、併催の商談会への出展・旅行会社への個別訪問を実施した。 ※さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会にて実施。 - ランタンフェスティバルへの出展（台南市） 実施期間：令和 6 年 2 月 24 日～3 月 10 日 実施内容：台北市で開催されたランタンフェスティバルに札幌に関連するデザインのランタンを出展し、札幌の PR を実施した。 - タイ現地旅行博（Visit Japan FIT Fair）への出展 実施期間：令和 5 年 10 月 6 日～8 日 実施内容：JNTO が主催する旅行博 Visit Japan FIT Fair に出展し、現地一般消費者に向けて札幌の観光の魅力を PR した。 - フィリピン現地旅行博（Travel Tour Expo）への出展 実施期間：令和 6 年 2 月 2 日～4 日 実施内容：フィリピン旅行業協会が主催する旅行博 Travel Tour Expo に出展し、現地一般消費者に向けて札幌の観光の魅力を PR するとともに、現地旅行会社・航空会社を個別訪問し、セールスを実施した。 - ベトナム現地イベント（北海道フェスティバル in ハロン）への出展 実施期間：令和 5 年 11 月 17 日～19 日 実施内容：日越外交関係 50 周年・クアンニン省創立 60 周年記念事業として開催された、ハロンでの北海道フェスティバル in ハロンに出展し、現地一般消費者に向けて札幌の観光の魅力を PR した。 - ASEAN 有力旅行会社招請 実施期間：令和 5 年 6 月 27 日～30 日 実施内容：ASEAN 域内の有力旅行会社 20 社（マレーシア、タイ、インドネシア、シンガポール）を招請し、夏の札幌・北海道の魅力を体験いただく FAM トリップを実施。また、市内事業者との BtoB 商談会・ネットワーキングを行った。 - アジア向けスノーリゾートプロモーション 実施期間：令和 5 年 12 月～令和 6 年 3 月 実施内容：スキー・スノーボード愛好家が集まる SNS コミュニティの代表者（中国、台湾、香港、タイ）を招請し、都市型スノーリゾートの魅力を体験。各代表者・コミュニティの SNS での発信や、コミュニティでの報告会を実施した。	

		9. さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業 実施期間：令和5年6月～令和6年3月 実施内容：札幌周辺の市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町）と協議会を形成し、台湾市場に向けて、共同でプロモーションを実施。着地型旅行商品の造成や、台湾現地のインフルエンサーを招請し、圏域の魅力発信及び着地型商品のPRを実施した。
--	--	--

事業名	欧米豪向けプロモーション		経済観光局 観光・MICE推進部 観光・MICE推進課
趣旨・概要	招請事業や商談会・旅行博などの出展を行うことで、札幌の認知度向上につながるよう魅力発信を行った。		
2023年度 事業実績	対象国 対象都市	アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア	
	事業内容	1. 米国現地旅行博（Los Angeles Travel & Adventure Show）への出展 実施期間：令和6年2月3日～4日 実施内容：ロサンゼルスにて開催された Los Angeles Travel & Adventure Showに出展し、現地の一般消費者に向けて、札幌・北海道の魅力をPRした。 2. 英国現地商談会（World Travel Market）への出展 実施期間：令和5年11月6日～8日 実施内容：ロンドンにて開催された World Travel Market に出展し、現地旅行会社・メディアに対してセールスを実施した。 3. アドベンチャートラベル有力メディア番組制作 実施期間：令和5年5月～令和6年2月 実施内容：カナダの映像製作会社と連携し、同社テレビシリーズ（Adventure Cities）で放映する札幌の特集番組を制作・発信した。 4. ATWS2023 オフィシャルメディア招請 実施期間：令和5年12月～令和6年3月 実施内容：ATWS2023の主催団体である ATTA にて選定された ATWS オフィシャルメディアへアプローチを行い、冬の札幌に関心が高く、効果的なアドベンチャートラベル旅行者への発信ができるメディア3組を招請し、各メディアにて発信した。 5. 欧米豪向けスノーリゾートプロモーション 実施期間：令和5年11月～令和6年3月 実施内容：欧米豪のスキー・スノーボード愛好家に影響力の強いインフルエンサー・メディア（トッププレイヤー等）8組9名を招請。各インフルエンサー・メディアのSNSや媒体で、札幌の楽しみ方を発信した。 6. 欧米メディア取材支援 実施期間：令和5年6月～令和6年3月 実施内容：欧米豪メディアの札幌取材を促進するため、取材に関連する宿泊費や手配に係る費用の支援制度を設けた。	

事業名	全市場向けプロモーション		経済観光局 観光・MICE 推進部 観光・MICE 推進課
趣旨・概要	WEB・SNS を活用した情報発信、世界各国から参加する商談会への出展を実施した。		
2023 年度 事業実績	対象国 対象都市	アメリカ、イギリス、オーストラリア、台湾、香港、韓国、中国、タイ、シンガポール、インドネシア、ベトナム、インド、カナダ、ニュージーランド、フランス、ドイツ、スイス、ベルギー	
	事業内容	1. WEB サイトを活用した情報発信 実施期間：令和 5 年 7 月～令和 6 年 3 月 実施内容：WEB（Visit Sapporo）での情報発信及び欧米圏に向けた共同通信 PRWire によるプレスリリースにより札幌観光情報の発信を行った。 2. SNS を活用した情報発信 実施期間：令和 5 年 6 月～令和 6 年 3 月 実施内容：Facebook 及び Instagram アカウントを活用し、タイムリーな札幌観光情報の発信を行った。 3. 商談会（VISIT JAPAN Travel & MICE Mart）出展 実施期間：令和 5 年 10 月 26～28 日 実施内容：JNTO が主催する国内最大のインバウンド向け商談会「VISIT JAPAN Travel & MICE Mart」に出展し、札幌の観光について情報発信するとともに、各市場の情報収集を行った。	

(3) MICE

ア 2023 年度事業概要

事業名	第 44 回札幌国際スキーマラソン大会	スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興担当課
趣旨・概要	本大会は、冬季における市民の健康維持と体力増進に寄与するとともに、クロスカン트리ースキーの振興と国際交流を図ることを目的として、昭和 56 年（1981 年）から開催。また、昭和 61 年（1986 年）から世界的なクロスカン트리ースキーレースの連合体であるワールドロペットに加盟している。	
2023 年度 事業実績	開催期間	2 月 4 日
	開催場所	白旗山競技場
	主催団体	札幌市、健康・体力づくり事業財団、全日本スキー連盟、札幌スキー連盟、北海道歩くスキー協会、北海道新聞社、札幌市スポーツ協会
	参加者数 参加国	792 人（うち海外からの参加者 14 カ国・地域/120 人） アメリカ、イギリス、イタリア、エストニア、オーストラリア、オーストリア、カナダ、スウェーデン、スペイン、チェコ、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、ポーランド、ラトビア
	実施内容	・スキーマラソン（50km、25km） ・歩くスキー（10km、4 km）

事業名	宮様スキー大会国際競技会	スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興担当課
趣旨・概要	1930 年（昭和 5 年）の秩父宮、高松宮両殿下のご来道を記念して開催されたスキー大会。	
2023 年度 事業実績	開催期間	2 月 29 日～3 月 3 日
	開催場所	宮の森ジャンプ競技場、大倉山ジャンプ競技場、ばんけいスキー場、白旗山競技場、西岡バイアスロン競技場、サッポロテイネハイランドゾーン
	主催団体	札幌市、(公財)北海道スポーツ協会、(一財)札幌市スポーツ協会、(公財)札幌スキー連盟、(公財)北海道スキー連盟、ほか 4 者による共催
	参加人数	1,090 人（うち海外からの参加者 2 カ国・地域/9 人）

事業名	2024FIS パラアルペンスキーワールドカップ札幌大会	スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興担当課
趣旨・概要	札幌市では史上初となるパラアルペンスキーの国際大会であり、世界 16 カ国からトップ選手が札幌に集結。FIS（国際スキー・スノーボード連盟）及び日本障害者スキー連盟が開催するトップレベルの国際大会であり、パラリンピック金メダリストである鈴木 猛史選手をはじめ、多くの日本人選手が出場したほか、選手を筆頭に市内の学校を訪問し、国際理解や共生社会の実現にも寄与する大会となった	
2023 年度 事業実績	開催期間	2 月 10 日～15 日
	開催場所	サッポロテイネスキー場
	主催団体	公益財団法人 日本障害者スキー連盟
	参加国	アンドラ、オーストラリア、オーストリア、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、韓国、オランダ、ノルウェー、ニュージーランド、スイス、スロバキア、フィンランド、スウェーデン
	参加人数	65 人（うち海外からの参加者：15 カ国・地域/58 人）

事業名	どうぎんカーリングクラシック 2023 車いすカーリング国際親善試合		スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興担当課
趣旨・概要	北海道カーリングツアー大会の初戦となる「どうぎんカーリングクラシック 2023」において、日本と韓国の車いすカーリングチーム同士による、国際親善試合を開催。また、開催に合わせて、健常者も障がいのある方も楽しめる車いすカーリングの体験会を実施。		
2023 年度 事業実績	開催期間	8月5日～6日	
	開催場所	どうぎんカーリングスタジアム	
	主催団体	どうぎんカーリングクラシック 2023 実行委員会	
	参加者数 参加国	14人（うち海外からの参加者1カ国・地域/9人） 韓国	

事業名	さっぽろグローバルスポーツコミッション事業		スポーツ局 スポーツ部 スポーツ都市推進課
趣旨・概要	札幌市のみならず北海道の豊富なスポーツ資源を最大限活用することにより、国際競技大会やオリンピック・パラリンピック等の事前合宿の誘致、開催支援のほか、ウインタースポーツを中心とするスポーツツーリズムを推進し、北海道・札幌市の魅力発信を図るとともに、市民や団体の多様な交流を交え、地域活性化と交流人口拡大に資する活動をおこなっている。 北海道、札幌市、札幌商工会議所、一般財団法人札幌市スポーツ協会、一般社団法人札幌観光協会、株式会社札幌ドーム、公益財団法人札幌国際プラザの7団体により実施している。		
2023 年度 事業実績	実施日	「さっぽろグローバルスポーツコミッション」を2016年（平成28年）3月31日に設立し、以後活動している	
	対象国 対象都市	各種国際競技大会の実施：R5年度FISパラアルペンスキーワールドカップ開催支援 スキープロモーション：アメリカ、台湾、シンガポール各博覧会にてPRブース出展	
	参加人数	FISパラアルペンスキーワールドカップ札幌大会（16か国65名）	
	事業内容	1. FISパラアルペンスキーワールドカップ札幌大会の誘致・開催支援 札幌市では史上初となるパラアルペンスキーの国際大会であり、世界16か国からトップ選手が札幌に集結。FIS（国際スキー・スノーボード連盟）及び日本障害者スキー連盟が開催するトップレベルの国際大会であり、パラリンピック金メダリストである鈴木 猛史選手をはじめ、多くの日本人選手が出場したほか、選手を筆頭に市内の学校を訪問し、国際理解や共生社会の実現にも寄与する大会となった。 2. スポーツツーリズムの推進（国際プロモーション） 札幌マラソンを契機とした台湾・高雄市とのマラソン交流事業を実施し、高雄市民ランナーの受入や札幌市民ランナーの派遣について行うことにより、交流人口の拡大に寄与した。	

事業名	冬季オリンピック・パラリンピック招致	スポーツ局 招致推進部 調整課
趣旨・概要	○趣旨 再び冬季オリンピックを開催し、初のパラリンピックを開催することは、子どもたちに夢と希望を与え、冬季スポーツを振興し、世界平和に貢献するというオリンピック本来の意義に加え、都市基盤および冬季スポーツ施設の更新や、バリアフリーの促進といった都市のリニューアルを推し進めることになる。また、環境に優しい自然豊かな北海道の魅力を世界の人々にアピールする絶好の機会でもあり、世界各国から訪れる観光客の誘客や道産食材等のPR、スポーツ合宿の誘致等、北海道全体の地域経済の活性化につながるものと考えられる。 ○経緯 平成26年(2014年)10月16日 市民アンケート実施 平成26年(2014年)11月16日 札幌市議会における招致決議 平成26年(2014年)11月27日 札幌市議会で市長が札幌市として招致を表明 平成28年(2016年)11月18日 JOCに開催提案書を提出 平成29年(2017年)11月22日 2026年立候補プロセスにおけるIOCとの対話ステージへ参加を表明 平成30年(2018年)9月17日 IOC、JOC、札幌市の三者で会談し、2030年大会招致に向けて対話を継続することで合意 令和2年(2020年)1月29日 JOC理事会において、札幌市が2030年冬季オリンピックの国内候補地に決定 令和3年(2021年)11月29日 2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会概要(案)を公表 令和4年(2022年)3月 市民・道民を対象とした意向調査実施 令和4年(2022年)3月30日 札幌市議会における招致決議 令和4年(2022年)5月10日 北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピックプロモーション委員会を設立 令和4年(2022年)11月8日 北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック冬季競技大会概要(案)更新版を公表 令和5年(2023年)5月22日 北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック冬季競技大会に向けた大会運営見直し案に関する検討委員会を設置 令和5年(2023年)7月7日 北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック冬季競技大会に向けた大会運営見直し案 中間報告 令和5年(2023年)10月30日 北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会に向けた大会運営見直し案を公表 令和5年(2023年)11月29日 IOC理事会において、2030年大会はフレンチアルプス、2034年大会はソルトレイクシティが狙いを定めた対話へ移行、2038年大会はスイスと優先的対話を行うことが決定された	
2023年度 事業実績	事業内容	・招致活動における情報収集のため、IOCとの協議を実施 ・東京2020大会をめぐる事案により、オリンピックに対する不信感が増大したことを受け、有識者等による検討委員会を設置し、大会運営見直し案の検討を実施、公表 ・市民理解促進のため、市民説明会やオリパラ出前講座を実施 オープンハウス：13回(令和5年7月29日～9月9日)開催、4,120名参加 説明会(オンライン含む)：15回(令和5年7月29日～9月16日)開催、428名参加 オリパラ出前講座：令和5年度は81回(通年)実施、2,713名参加

(4) シティプロモート
ア 2023 年度事業概要

事業名	自治体国際化協会（クレア） ロンドン事務所による Instagram「Local eyes Japan」を活用したシティプロモート		総務局 広報部 広報課
趣旨・概要	自治体国際化協会（クレア） ロンドン事務所が運営する Instagram「Local eyes Japan」を活用し、市内のイベントや魅力的な景観の写真を投稿することで、海外の方に向けて札幌の魅力を発信する。		
2023 年度	フォロワー数	1,607 人（令和 6 年 6 月 11 日時点）	
事業実績	事業内容	令和 5 年 6 月 6 日に「さっぽろライラックまつり」を紹介する記事を投稿し、海外の方に向けて札幌の魅力を発信した。	

事業名	公益財団法人フォーリン・プレスセンターへの賛助会員登録及び同センターの活用		総務局 広報部 広報課
趣旨・概要	本市では、海外観光客の誘客や外国人市民の増加をはじめ、経済成長の著しい地域への販路拡大などを図るため、積極的に札幌の魅力を海外へ発信することが求められている。この発信に当たっては、外国の報道関係者に情報を確実に届ける必要があることから、本市では平成 14 年から、海外へのシティプロモーションの一環として、外国メディアの取材支援や日本各地の情報発信・資料配布などを行う公益財団法人フォーリン・プレスセンターの賛助会員となっており、海外メディア等を対象としたプレスリリースの実施やプレスツアーの開催など、同センターのサービスを無料または割引価格で利用している。		
対象国 対象都市	29 か国/地域の 146 機関		
2023 年度 事業実績	事業内容	毎年、同センターに賛助会費を 20 万円納付し、下記の賛助会員特典を活用できるようにしている。 【賛助会員特典】 ・同センターが主催する外国メディアを対象とした記者会見及びブリーフィングへのオブザーバーとしての参加 ・外国メディアとの懇親会への参加 ・同センターが主催するシンポジウム・セミナーへの参加 ・外国メディア向けプレスリリース配信サービス・プレスツアー・イベント開催のサポート料金の割引 ・同センターウェブサイトを通じた会員の情報発信 ・パンフレットを展示・配布できるコーナーを同センター内で提供 ・週報「在日主要外国メディアの日本報道」の提供	

事業名	国際芸術祭事業	市民文化局 文化部 国際芸術祭担当課
趣旨・概要	札幌国際芸術祭（Sapporo International Art Festival 略称：SIAF（サイアフ））は、3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える特別なアートイベント。2014年に第1回、2017年に第2回を開催し、札幌市内のさまざまな場所で展覧会やパフォーマンスなど、多彩なプログラムを繰り広げた。3回目となる2020年の開催は残念ながら中止となったが、「SIAF2020 特別編」として、オンラインプログラムや企画の紹介展示、記録集の発行を行った。 そして、2024年1月20日～2月25日（一部例外あり）にはディレクターに小川秀明氏（アルスエレクトロニカ・フューチャラボ共同代表）を迎え、「SIAF2024」を開催し、海外からの観光客にも多く来場していただいた。 芸術祭の開催年度以外の年度においても、継続的な普及・発信の取組を行っており、令和6年度もプレイベント等の実施を予定している。	
2023年度事業実績	○SIAF2024 SIAF2024では国内外の多くのアーティストの作品を展示し、海外からの観光客にも多くご来場いただいた。 ○プレスリリース SIAF2024開催に向け、令和5年10月に記者発表を実施。世界最大級のオンラインアート・プラットフォーム「E-flux」を通じて海外にも情報を発信した。 ○普及啓発活動 1. 札幌国際芸術祭2024関連イベント「SIAF2024 アルスエレクトロニカ・デー」 オーストリア・リンツ市の世界的文化機関「アルスエレクトロニカ」と連携し、リンツ市からアーティストを招聘したピアノと映像技術が融合した新しいプログラムや、オーストリア文化フォーラム東京の所長によるトークイベントなど、海外発信や異文化交流を軸とした4つのプログラムを行った。 開催日：令和6年2月3・4日 場所：札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術交流センターSCARTS等 2. WIRED Podcast プログラム「SIAF AS A TOOL」との連携を通じたアートの国際発信 国内外で活躍するSIAF2024の参加アーティストをゲストに迎え、それぞれのプロジェクト等について公開収録および配信を行った。 開催日：SIAF2024の会期中（1/20、2/3 各2回計4組のゲスト） 場所：札幌文化芸術交流センターSCARTS	

4 国際協力

(1) 研修員の受入

事業名	JICA 研修員の受入	各研修員受入担当課		
趣旨・概要	開発途上国諸都市との友好親善を深めるとともに、開発途上国の「ひとづくり」に協力するため、本市では、積雪・寒冷など北の風土に適合した生活基盤づくりを行ってきた経験・ノウハウを活かした寒冷地水道技術者養成をはじめ、環境、保健衛生、教育等の分野で研修員受入を行っている。			
	〈2023 年度 研修コース一覧〉			
	研修コース		受入人数	所管
	1	固形廃棄物管理の基礎 (A)	14 人	環境局
	2	道路維持管理 (B)	5 人	建設局
3	上水道施設技術総合 (B)	3 人	水道局	

海外からの視察・研修受け入れ状況一覧 (2023 年度)

所管	件名	期間	人数	関係国・地域	内容
危機管理局					
危機管理部	札幌市で起きる災害についての視察	6月2日	1人	カナダ	カナダ外交官に札幌市の災害事例・対策を紹介するとともに意見交換を実施。
	札幌市の災害対応についての視察	12月8日	6人	韓国	韓国国務調整室らに札幌市のハザードマップ運営状況や水防対策を説明。
総務局					
国際部	延生大学一行 視察	6月12日～ 6月15日	37人	韓国	モエレ沼公園と札幌ドームを視察。
	韓国・釜山市機張郡一行視察	9月8日	25人		サッポロさとらんどを視察。 (経) 農業支援センター対応)
	世界教育協会 韓国支部一行 視察	10月13日	19人		宮の森中学校を視察。 (教) 教育課程担当課対応)
	韓国・慶尚北道蔚津郡一行視察	10月31日	20人		札幌市の除雪対策、札幌市の夏まつり（ビアガーデン）及び雪まつり等について説明。 (建) 雪対策室計画課、(経) 観光・MICE 推進課対応)
	韓国・国務調整室安全環境政策官室一行 視察	12月8日	6人		札幌市のハザードマップの運営状況及び水防対策について説明。 (危) 危機管理課対応)
まちづくり政策局					
都心まちづくり推進室	タイ地方開発研修研修センター 視察	1月29日～ 3月11日 (4日間)	156人	タイ	・座学：札幌都心のまちづくりについて（約40分） ・現地視察：チ・カ・ホ、アカプラ等（約30分）
市民文化局					
男女共同参画室	国連ビジネスと人権の作業部会訪日調査	7月31日	6人	不明（国連ビジネスと人権作業部会）	平成23年に策定された「ビジネスと人権に関する国連指導原則」の実施促進のため、訪日し、政府や自治体、市民社会団体、人権活動家、学識者、労働組合、企業等との会談の一環として、札幌市長への訪問や事業ヒアリングを実施。事業ヒアリングでは、LGBTフレンドリー指標制度など、札幌市のLGBT施策の方針や取組、課題等を説明した。

文化部	韓国国土研究員 視察	9月11日	5人	韓国	(1)札幌市資料館（旧札幌控訴院庁舎）のこれまでの経緯 維持・保全・管理について (2)永山邸のこれまでの経緯 維持・保全・管理、過去のリニューアル事業など 上記2施設について通訳を介しながら説明。内容について質疑応答を行い、日本と韓国の文化財保護制度の違いを踏まえながら意見を交わした。
保健福祉局					
保健所	ザンビア人医師（ザンビア大使館）の研修受入れ	6月23日	1人	ザンビア	・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症に対する取り組みについて意見交換 ・衛生研究所で残日における感染症対策に関する講演
	コンゴ民主共和国国立科学研究所 博士の訪問受入れ	9月20日	3人	コンゴ	・保健所における感染症関連業務概要、国（厚労省や、国立感染症研究所）との関わりなどについて説明 ・保健所スタッフとの意見交換
環境局					
環境事業部	JICA 課題別研修「固形廃棄物管理の基礎 (A)」コース *	10月16日～10月25日	14人	コスタリカ、キューバ、エルサルバドル、アルゼンチン、ドミニカ、ホンジュラス、グアテマラ、ボリビア、エクアドル、ペルー、メキシコ、ウルグアイ	札幌市における廃棄物行政及び廃棄物処理全般に関わる内容（ごみの分別区分や有料化、焼却・埋立処理等） ※R5年度は座学と実習形式
建設局					
総務部	JICA 課題別研修「道路維持管理 (B)」コース *	9月27日～11月9日	5人	マラウイ、モザンビーク、ザンビア、ジンバブエ	・道路の維持管理に関する講義 ・道路、橋梁工事現場等の現場見学
下水道河川局					
経営管理部	「下水道展'23札幌」に伴う施設見学	8月3日	6人	韓国	創成川水再生プラザ第2処理施設及び高度処理施設の見学
	「下水道展'23札幌」に伴う施設見学	8月3日	64人	台湾	「下水道展'23札幌」の一環としての豊平川水再生プラザの施設見学
交通局					
総務部	ミュンヘン市訪問団市内視察（札幌・ミュンヘン姉妹都市提携50周年事業）	6月8日	14人	ドイツ・ミュンヘン	訪問団の事前の希望に基づき、当局東車両基地において指令所職員からの説明及び同基地内の視察受入れを予定していたが、訪問団側のスケジュールの都合により、本庁16階議員会議室を会場とした座学（指令所職員からの業務内容の説明）のみを行った。
事業管理部	モンゴルのテレビ局による札幌市営地下鉄の取材受入れ	1月29日～1月31日	3人	モンゴル	交通渋滞が慢性化し都市問題化しているウランバートル市において、これを解決するための地下鉄建設プロジェクトが決定されたことに伴い、同国のテレビ局から、同市と規模や気候が近い札幌の地下鉄を取材したいとの依頼があり、地下鉄駅構内や運転台からの撮影のほか、本市地下鉄の経営や特徴等についての座学取材を受け入れたもの。

水道局					
総務部	JICA 課題別研修「上水道施設技術総合 (B)」コース *	6 月 5 日～ 7 月 28 日	3 人	モザンビーク、ヨルダン、イエメン	札幌市の水道技術全般（水源保全・浄水場の形態と仕組み・漏水防止対策・配水管の維持管理等）
議会事務局					
政策調査課	行政施策	9 月 19 日	10 人	韓国・江原	韓国・江原（カンウォン）特別自治道議会から「地方分権」及び「市議会の役割と現況」をテーマとして議会事務局に行政視察の申し込みがあり、（総）行政部総務課及び議）政策調査課より説明を行った。

【研修等受入の推移】

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
実施研修件数	28	26	21	30	33	15	2 (2)	4 (4)	7 (2)	20
（うち JICA コース）	5	3	6	3	3	3	1 (1)	3 (3)	4 (2)	3
受入研修員数	429	238	208	506	302	265	7 (7)	59 (59)	63 (15)	287
（うち JICA 研修員）	52	48	71	35	24	26	7 (7)	31 (31)	28 (15)	22

※JICA コースは、本市が主たる受入機関として実施したコース（表中の“*”印のもの）

※()内の数は、オンライン・オンデマンド研修による実施研修件数又は受入研修員数（内数）

(2) 職員の海外派遣

事業名	職員海外派遣事業	各職員派遣担当課		
趣旨・概要	相手国の実情にあわせた技術や知識を伝えることで開発途上国の「人づくり」、「国づくり」に貢献するため、独立行政法人国際協力機構（JICA）等の依頼に応じ、専門職員を開発途上国等に派遣し、本市の持つ知識・技術を活かした国際貢献を行っているほか、在外邦人子女の教育についての研修の一環として文部科学省の仲介により、海外日本人学校へ職員派遣し、帰国子女・国際理解教育や自主的・主体的な学校運営に必要な資質を身につけるための研修の機会としている。			
	〈2023 年度の派遣実績〉			
	派遣事業名	派遣先	派遣人数	所管
	在外教育施設派遣教員の派遣制度	ニュージャージー（アメリカ）	1	教育委員会
	〃	深圳（中国）	1	〃
	〃	アムステルダム（オランダ）	1	〃
	〃	ニューヨーク（アメリカ）	1	〃
〃	ドーハ（カタール）	1	〃	

事業名	海外事例調査助成事業	総務局 職員部 人事課人材育成担当													
趣旨・概要	海外事例調査助成は、各局区等における海外事例調査の実施を積極的に支援することにより、札幌市における政策的課題の解決に資するほか、職員の国際的な視野を広め資質の向上を図ることを目的として実施する。														
	〈2023 年度の派遣実績〉														
	<table><tr><th>テーマ</th><th>派遣先</th><th>派遣人数</th><th>申請局区</th></tr><tr><td>欧州におけるウォークアブルシティ先進事例及び市民参加型合意形成デジタルプラットフォームの実態調査</td><td>①スペイン（バルセロナ） ②フランス（パリ） ③イギリス（ロンドン）</td><td>3</td><td>まちづくり政策局</td></tr><tr><td>福祉ニーズの多様化に向けた ICT 活用と農福連携施策の事例調査～持続可能な福祉を目指して～</td><td>①イギリス（マンチェスター） ②オランダ（アムステルダム）</td><td>3</td><td>東区</td></tr></table>				テーマ	派遣先	派遣人数	申請局区	欧州におけるウォークアブルシティ先進事例及び市民参加型合意形成デジタルプラットフォームの実態調査	①スペイン（バルセロナ） ②フランス（パリ） ③イギリス（ロンドン）	3	まちづくり政策局	福祉ニーズの多様化に向けた ICT 活用と農福連携施策の事例調査～持続可能な福祉を目指して～	①イギリス（マンチェスター） ②オランダ（アムステルダム）	3
テーマ	派遣先	派遣人数	申請局区												
欧州におけるウォークアブルシティ先進事例及び市民参加型合意形成デジタルプラットフォームの実態調査	①スペイン（バルセロナ） ②フランス（パリ） ③イギリス（ロンドン）	3	まちづくり政策局												
福祉ニーズの多様化に向けた ICT 活用と農福連携施策の事例調査～持続可能な福祉を目指して～	①イギリス（マンチェスター） ②オランダ（アムステルダム）	3	東区												

5 国際施策の推進に関する出版物等

(1) 国際施策関連出版物（日本語）

名 称	言 語	内 容	種 類	発行者
札幌・ミュンヘン姉妹都市提携 50 周年記念誌	日本語 周年時発行	札幌・ミュンヘン姉妹都市提携 50 周年記念誌	冊子	総) 国際課
札幌・瀋陽友好都市提携 35 周年記念誌	日本語 周年時発行	札幌・瀋陽友好都市提携 35 周年記念誌	冊子	総) 国際課（交流担当課）
外国語表記ガイドライン	日本語	札幌市行政機構、役職、施設等の英語表記、中国語表記、ハングル表記のガイドライン	ホームページ上で公開	〃
札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 年のあゆみ	日本語 周年時発行	札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年記念誌	ホームページ上で公開	〃
札幌・ノボシビルスク姉妹都市提携 25 周年記念誌	日本語 周年時発行	札幌・ノボシビルスク姉妹都市提携 25 周年記念誌	冊子	〃
姉妹都市ポートランド	日本語	姉妹都市ポートランドの概要を紹介したリーフレット	パンフレット	〃
世界冬の都市市長会	日本語 英語 中国語(簡) ハングル ロシア語	世界冬の都市市長会及びこれまで開催された会議の内容を紹介したパンフレット	ホームページ上で公開	世界冬の都市市長会事務局
World Winter City News	日本語 英語	世界冬の都市市長会に関する広報誌	ホームページ上で公開	〃
さっぽろの姉妹都市	日本語	札幌の 5 姉妹都市を紹介した冊子	パンフレット	札幌姉妹都市協会
姉妹都市ニュース TOMO	日本語 不定期発行	姉妹都市との交流事業の紹介	パンフレット	〃
時計台前から	日本語 年 1 回発行	札幌国際プラザ実施事業等を紹介するニューズレター	パンフレット	(公財) 札幌国際プラザ
札幌国際芸術祭 2024 リーフレット	日本語 英語	札幌国際芸術祭 2024 のテーマ、会期、会場等開催概要をまとめたもの	パンフレット	市) 国際芸術祭担当課 発行：札幌国際芸術祭実行委員会
札幌国際芸術祭 2024 全体ガイドブック	日本語 英語	札幌国際芸術祭 2024 のテーマ、会期、会場等開催概要をまとめたもの	冊子	市) 国際芸術祭担当課 発行：札幌国際芸術祭実行委員会
PMF パンフレット	日本語	PMF の開催スケジュール等を掲載したもの	パンフレット	市) 文化振興課 発行：(公財) PMF 組織委員会
PMF 公式報告書	日本語 英語 年 1 回発行	開催実績等をまとめたもの	冊子	〃
2022 年年報 Hoppoken 別冊	日本語 年 1 回発行	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター (HIECC) の 2022 年度の活動報告	冊子	水) 企画課 発行：(公社) 北海道国際交流・協力総合センター

(2) 外国語による生活・市政情報

【冊子、DVDなど】

名 称	表記言語	内 容	種 類	所管・発行元
さっぽろ防災ハンドブック	英語 中国語(簡) ハングル ベトナム語	防災に関する総合情報	パンフレット	危) 危機管理課
札幌市国民保護計画	英語 中国語(簡) ハングル ロシア語	札幌市国民保護計画の概要	ホームページ上で公開	〃
札幌市防災アプリ「そなえ」	英語	札幌市防災アプリ「そなえ」の紹介	リーフレット	〃
Sapporo 2023, Facts and Figures	英語	「札幌市の概況」の英語版	ホームページ上で公開	総) 国際課 (交流担当課)
札幌国際交流館 PR パンフレット	英語	札幌国際交流館施設案内	パンフレット	〃
札幌留学生交流センター PR パンフレット	英語	札幌留学生交流センター施設案内	パンフレット	〃
災害時ポケットガイド	英語 中国語(簡) ハングル ロシア語 ベトナム語	災害啓発、災害多言語支援センターについて	リーフレット	総) 国際課 発行：(公財) 札幌国際プラザ
札幌に住む外国人親子のための小学校入学ガイドブック	英語 中国語(簡) ハングル ベトナム語 モンゴル語	小学校での1日、入学までに準備するものなどの情報	パンフレット	(公財) 札幌国際プラザ 協力：札幌市教育委員会
札幌市コールセンター	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	札幌市コールセンターの紹介	カード	総) 市民の声を聞く課
札幌市アイヌ文化交流センター サッポロピリカコタン	英語 中国語(簡) 韓国語	札幌市アイヌ文化交流センターの紹介	リーフレット	市) アイヌ施策課
アイヌ文化を発信する空間 minapa (ミナパ)	英語	アイヌ文化を発信する空間「ミナパ」の紹介	リーフレット	〃
Kitara (札幌コンサートホール)	英語 中国語(簡) ロシア語 ドイツ語 フランス語	札幌コンサートホールの紹介	パンフレット	市) 文化振興課 発行：(公財) 札幌市芸術文化財団
	英語 中国語(簡) ハングル ロシア語 ドイツ語 フランス語	札幌コンサートホールの紹介 (簡易版)	リーフレット	〃
札幌芸術の森ガイドマップ	英語	札幌芸術の森の紹介	パンフレット	〃
本郷新記念札幌彫刻美術館	英語	本郷新記念札幌彫刻美術館の紹介	パンフレット	〃
札幌市民交流プラザ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	札幌市民交流プラザの紹介	パンフレット	〃
外国人向け文化芸術情報	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	文化イベントや文化施設などの紹介	ラジオ放送 (週1回)	市) 文化振興課 放送：三角山放送局

名 称	表記言語	内 容	種 類	所管・発行元
札幌市資料館（旧札幌控訴院庁舎）	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	札幌市資料館の施設紹介（簡易版）	リーフレット	市）文化振興課（事業調整担当） 発行：札幌市資料館運営共同事業体
さっぽろ天神山アートスタジオ	英語	さっぽろ天神山アートスタジオの施設紹介	リーフレット	市）文化振興課（事業調整担当）
八窓庵パンフレット	英語	文化財の紹介	パンフレット	市）文化財課
旧黒岩家住宅パンフレット	英語	文化財の紹介	パンフレット	〃
旧永山武四郎邸館内解説ハンドアウト	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	文化財の紹介	パンフレット	市）文化財課 発行：NC・MMS 永山邸等運営管理共同事業体
旧永山武四郎邸館内展示音声案内（Uni-Voice）	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	旧永山武四郎邸館内展示音声案内 ※日本語の展示に音声案内を付与	音声案内	市）文化財課 発行：NC・MMS 永山邸等運営管理共同事業体
時計台パンフレット	英語	文化財の紹介 ※日本語パンフレットの一部に英語を併記	パンフレット	市）文化財課 発行：(株)エムエムエスマンションマネージメントサービス
時計台館内展示解説シート	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	時計台館内展示の解説	冊子	〃
時計台の概要	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル タイ語	時計台の概要について	リーフレット	〃
時計台の歩み	英語	時計台の沿革について	冊子	〃
時計台館内展示音声案内（Uni-Voice）	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	時計台館内展示音声案内 ※日本語の展示に音声案内を付与	音声案内	〃
豊平館	英語	豊平館の歴史や建物の概要と館内案内	リーフレット	市）文化財課 発行：一般財団法人北海道歴史文化財団
	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	豊平館の展示や見どころの紹介	パンフレット	〃
札幌ドーム施設概要	英語	札幌ドームの施設紹介 ※イベント主催者及び視察来場者用	パンフレット	ス）施設課 発行：(株)札幌ドーム
SAPPORO DOME	英語	札幌ドームの紹介（映像） ※イベント主催者及び視察来場者用	DVD	〃
大倉山展望台	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	大倉山展望台、大倉山ジャンプ競技場、ウィンタースポーツミュージアム紹介	パンフレット	ス）施設課 発行：(株)札幌振興公社

名 称	表記言語	内 容	種 類	所管・発行元
札幌オリンピックミュージアム	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	札幌オリンピックミュージアムの紹介	パンフレット	〃
保護のしおり	英語	生活保護制度の説明	チラシ	保) 保護課
妊娠届出書	英語	妊娠届出様式と、母子健康手帳の交付についての案内	リーフレット	子) 母子保健担当課
妊婦向け資料「妊娠を届け出たお母さまへ」	英語	妊娠中の訪問や教室の案内、出産後、全戸訪問を依頼するために母子の情報を記載するハガキ（出産連絡票）の解説	チラシ	〃
母子保健訪問指導用パンフレット	英語	産後の母の健康管理や育児に関する指導、母子保健サービスの紹介	パンフレット	〃
離乳のすすめ方	英語 中国語(簡) ハングル	厚生労働省策定の「授乳・離乳の支援ガイド」を基にした、離乳のすすめ方の説明資料	パンフレット	保) ウェルネス推進課
ママ&パパの“？”を解決！ 離乳食ガイド	英語	離乳食に関するヘルプガイド	パンフレット	〃
母子健康手帳	英語 中国語(簡) ハングル タイ語 スペイン語 タガログ語 インドネシア語 ポルトガル語 ネパール語 ベトナム語	妊娠中からの母子の健康管理記録用手帳	冊子	子) 母子保健担当課 発行：(財) 母子衛生研究会
わが家に赤ちゃんがやってくる(令和2年度版)	英語 フランス語 ※フランス語は平成23年版	札幌市で母子手帳の交付時に配布している出産に係る情報をまとめた冊子	冊子	子) 母子保健担当課 翻訳：(公財) 札幌国際ブラザ
乳幼児健診アンケート（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児・5歳児セルフチェック）	英語 ベトナム語	乳幼児健診の問診票	問診票	〃
外国人結核患者用パンフレット集	英語 中国語(簡) ハングル スペイン語 ポルトガル語 タガログ語 モンゴル語 インドネシア語 タイ語	結核患者に対する病状及び治療の説明 ※コピーを配布	冊子	保) 感染症総合対策課 発行：(財) 結核予防会結核研究所
服薬記録	英語	結核患者の服薬状況を確認する記録票	冊子	保) 感染症総合対策課

名 称	表記言語	内 容	種 類	所管・発行元
札幌市衛生研究所	英語	衛生研究所の概要と衛生行政の紹介	パンフレット	保) 衛生研究所保健科学課
さっぽろ子育てガイド 2023	英語	子ども関連施設、子育て支援の制度・サービスの紹介	冊子	子) 子育て支援推進担当課 翻訳：(公財) 札幌国際プラザ
さっぽろ観光マップ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル タイ語	札幌の観光マップ	リーフレット	経) 観光・MICE 推進課
The Other Japan SAPPORO	英語 フランス語 ドイツ語	札幌市全般の紹介	パンフレット	〃
SAPPORO ぶらり手帖	英語	市内観光スポットやまち歩きコースの紹介	リーフレット	〃
GO NORTH !	英語(欧米版、アジア版の2種類) 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル タイ語 フランス語 ドイツ語	観光誘致用パンフレット	パンフレット	経) 観光・MICE 推進課 発行：札幌市国際観光誘致事業実行委員会
さっぽろテレビ塔展望台	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	さっぽろテレビ塔の紹介	パンフレット	経) 観光・MICE 推進課 発行：(株)さっぽろテレビ塔
さっぽろグルメガイド	英語	MICE 参加者向け食体験情報の紹介	パンフレット	経) 観光・MICE 推進課 発行：札幌おもてなし委員会
札幌もいわ山ロープウェイ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル ロシア語 ドイツ語 スペイン語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語 フランス語	もいわ山観光施設の紹介	パンフレット	経) 観光・MICE 推進課 発行：(株)札幌振興公社
サッポロさとらんど	英語	サッポロさとらんどの紹介	リーフレット	経) 農政課 発行：さとみらいプロジェクトグループ
札幌市中央卸売市場案内	英語 中国語(簡) ハングル ロシア語	市場の概要	パンフレット	経) 管理課 発行：(一社)札幌市中央卸売市場協会
ごみ分けガイド ～資源とごみの分け方&出し方～	英語 中国語(簡) ハングル ベトナム語	家庭から出るごみの分け方や出し方の案内	パンフレット	環) 業務課

名 称	表記言語	内 容	種 類	所管・発行元
ポイ捨て防止条例啓発チラシ	英語 中国語(簡) ハングル	ポイ捨て防止条例に係る啓発	チラシ	環) 事業廃棄物課
発寒破碎工場 PR パンフレット	英語	発寒破碎工場施設案内	パンフレット	環) 施設管理課
さっぽろ気候変動対策ガイドブック	英語	札幌市の気候変動対策に関する取組の紹介	ホームページ 上で公開	環) 環境政策課
ヒグマのこと知ってますか?	英語 中国語(簡) ハングル	ヒグマの生態と事故防止のための注意事項	リーフレット	環) 環境共生担当課
札幌版省エネ技術手帳	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	札幌版省エネ技術 (SAPPORO SMART SYSTEM) の紹介	パンフレット	環) 環境エネルギー課
さっぽろ 円山動物園	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	円山動物園来園者用案内	パンフレット	環) 円山動物園経営 管理課
MOERENUMA PARK The Introduction DVD	英語 中国語(簡) ハングル	モエレ沼公園の紹介	DVD	建) みどりの推進課
モエレ沼公園	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	モエレ沼公園の紹介	パンフレット	建) みどりの管理課
モエレ沼公園～誕生への歩み～ (ダイジェスト版)	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	モエレ沼公園の紹介	DVD	〃
大通公園	英語	大通公園の紹介	パンフレット	〃
豊平公園	英語	豊平公園の紹介	パンフレット	〃
中島公園	英語 中国語(繁) ハングル	中島公園の紹介	パンフレット	〃
円山公園	英語	円山公園の紹介	パンフレット	〃
創成川公園	英語	創成川公園の紹介	パンフレット	〃
札幌市豊平川さけ科学館	英語 中国語(繁)	さけ科学館の紹介	パンフレット	〃
百合が原公園の植物リサイクル	英語	百合が原公園における 植物リサイクルの紹介	パンフレット	〃
百合が原公園	英語 中国語(繁)	百合が原公園の紹介	パンフレット	建) みどりの管理課 発行: (公財) 札幌市 公園緑化協会
札幌市下水道科学館	英語 中国語(簡)	札幌市下水道科学館の 施設案内	パンフレット	下) 経営企画課
さっぽろの地下鉄・路面電車	英語	地下鉄・路面電車の紹介	パンフレット	交) 総務課

名 称	表記言語	内 容	種 類	所管・発行元
地下鉄案内	英語 中国語(簡) ハングル	乗車券、カードの買い方、改札機の通り方の解説	パンフレット	交) 業務課
地下鉄安全ガイド	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	地下鉄利用時に災害が発生した際の避難方法解説など	パンフレット	〃
札幌市水道記念館	英語	札幌市水道記念館の施設紹介	リーフレット	水) 企画課
札幌の消防	英語	札幌市の消防行政の紹介	PDF ファイル	消) 総務課
札幌市民防災センター	英語	札幌市民防災センター施設案内	パンフレット /リーフレット	消) 総務課 発行：(公財)札幌市 防災協会
就学援助申請書	英語 中国語(簡)	札幌市の就学援助の申請書	申請書	教) 教育推進課 翻訳：(公財)札幌国際 ブラザ
札幌市就学援助申請要領	英語 中国語(簡)	札幌市の就学援助制度の案内	パンフレット	〃
Guide to Sapporo Municipal Central Library	英語	中央図書館の利用案内	チラシ	教) 中央図書館利用 サービス課
Welcome to Sapporo Municipal Central Library	英語	中央図書館内の洋書・視聴覚コーナーの紹介	チラシ	〃
札幌市営住宅入居者募集のご案内	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	市営住宅の募集案内	冊子	都) 住宅課 発行：(一財)札幌市 住宅管理公社
市営住宅ガイド	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	市営住宅にお住まいの方へ入居中の各種届出や注意事項の案内	冊子	都) 住宅課 発行：(一財)札幌市 住宅管理公社

(3) 外国語によるホームページ

名 称	言 語	内 容	所管・発行元
世界冬の都市市長会	英語 中国語(簡) ハングル ロシア語	市長会の概要、活動内容等	総) 国際課 (交流担当課)
札幌グローバルサイト	英語 中国語(簡) ハングル フランス語 インドネシア語 ベトナム語	札幌の概要、観光情報、ビジネス情報、留学情報、等 ※フランス語、インドネシア語、ベトナム語は一部コンテンツのみ	〃
札幌国際交流館	英語 中国語(簡) ハングル ロシア語	国際交流館の施設案内等	総) 国際課 作成：セントラルスポーツ株式会社
札幌留学生交流センターホームページ	英語	施設紹介、入居案内、イベント情報	(公財) 札幌国際プラザ
札幌国際プラザ多文化交流部ホームページ	英語 中国語(簡) ハングル	国際プラザのイベント、事業情報	〃
さっぽろ外国人相談窓口「さっぽろくらしのガイド」ホームページ	英語 中国語(簡) ハングル ベトナム語 やさしい日本語	住民手続や相談先、災害・防災についてなど暮らしに関わる情報	〃
札幌多言語ニュースレター	英語 中国語(簡) ハングル ベトナム語 やさしい日本語	暮らしや子育て、イベント、災害などの情報	〃
札幌市公式ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	英語・中国語(簡・繁)・韓国語の自動翻訳に対応	総) 広報課
さっぽろえきバス navi	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	札幌周辺の主な公共交通の乗換経路や時刻表等が検索可能	政) 都市交通課
さぽーとほっと基金のページ (札幌市ホームページ内)	ドイツ語	放射能被害から子どもたちを守るための募金協力の呼びかけ(動画等)	市) 市民活動促進担当課
札幌市教育文化会館	英語	札幌市教育文化会館の施設案内等	市) 文化振興課 作成：(公財) 札幌市芸術文化財団
札幌コンサートホール Kitara	英語	札幌コンサートホール Kitara の施設案内、主催事業チケットの購入等	〃
札幌芸術の森	英語	札幌芸術の森の施設案内等	〃
本郷新記念札幌彫刻美術館	英語	本郷新記念札幌彫刻美術館の施設案内等	〃
札幌市民交流プラザ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	札幌市民交流プラザの施設案内等	〃
パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF)	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル ロシア語 イタリア語 スペイン語 ドイツ語 フランス語 ポルトガル語	PMF に関する情報全般(開催案内、スケジュール、チケット、参加アーティスト等)	市) 文化振興課 作成：(公財) PMF 組織委員会

名 称	言 語	内 容	所管・発行元
さっぽろ天神山アートスタジオ	英語	施設概要やイベント情報等	市) 文化振興課 (事業調整担当)
札幌時計台ホームページ	英語	施設概要やイベント情報、貸室等の利用案内	市) 文化財課 作成：(株)エムエムエスマンションマネージメントサービス
豊平館ホームページ	英語	施設概要や貸室等の利用案内	市) 文化財課 作成：一般財団法人北海道歴史文化財団
札幌国際スキーマラソン大会	英語	札幌国際スキーマラソン大会の概要	ス) 施設課 作成：(一財)札幌市スポーツ協会
札幌ドーム	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	札幌ドームの案内	ス) 施設課 作成：(株)札幌ドーム
札幌大倉山展望台	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	大倉山観光施設の概要	ス) 施設課 作成：(株)札幌振興公社
札幌市衛生研究所	英語 フランス語	病気の集団検査 (マスキリーニング)	保) 衛生研究所保健科学課
ようこそさっぽろ 北海道札幌市観光案内	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル タイ語 インドネシア語	札幌市の観光情報	経) 観光・MICE 推進課 作成：(一社) 札幌観光協会
札幌もいわ山ロープウェイ	英語	もいわ山観光施設の概要	経) 観光・MICE 推進課 作成：(株)札幌振興公社
札幌市中央卸売市場	英語	市場の概要	経) 中央卸売市場管理課
サッポロさとらんどホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	サッポロさとらんどの紹介等	経) 農政課 作成：さとみらいプロジェクトグループ
清掃ホームページ	英語 中国語(簡) ハングル ロシア語 ベトナム語	ごみの分別方法等 (ごみ分けガイド、家庭ごみ収集日カレンダー) ※家庭ごみ収集日カレンダーは、ベトナム語を除く。また、ごみ分けガイドは、ロシア語を除く。	環) 業務課
札幌市円山動物園	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	円山動物園の概要等	環) 円山動物園経営管理課
モエレ沼公園ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	モエレ沼公園の紹介	建) みどりの管理課 作成：(公財) 札幌市公園緑化協会
札幌国際芸術祭 2024 特設ウェブサイト	英語	札幌国際芸術祭 2024 の概要	市) 国際芸術祭担当課 作成：札幌国際芸術祭実行委員会

名 称	言 語	内 容	所管・発行元
大通公園ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	大通公園の紹介	〃
中島公園ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	中島公園の紹介	建) みどりの管理課 作成：公園緑化協会・中島公園コンソーシアム
百合が原公園ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	百合が原公園の紹介	建) みどりの管理課 作成：(公財) 札幌市公園緑化協会
札幌市豊平川さけ科学館	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	さけ科学館の紹介	〃
平岡公園ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	平岡公園の紹介	〃
円山公園ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	円山公園の紹介	〃
平岡樹芸センターホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	平岡樹芸センターの紹介	〃
創成川公園ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	創成川公園の紹介	〃
手稲稲積公園ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	手稲稲積公園利用案内	建) みどりの管理課 作成：稲積公園グループ
豊平川緑地(上流地区)ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	豊平川緑地(上流地区)の紹介	建) みどりの管理課 作成：公園緑化協会・中島公園コンソーシアム
札幌市交通局ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	運行情報、路線図、乗車方法、料金等 ※繁体字は運行情報のみ	交) 総務課
札幌市水道記念館 VR	英語	水道記念館の紹介	水) 総務部企画課
前田森林公園ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	前田森林公園利用案内	手) 維持管理課 作成：公園緑化協会・前田森林公園コンソーシアム
札幌市中央図書館ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	図書館利用案内	教) 中央図書館調整担当課
札幌市議会ホームページ	英語 中国語(簡) 中国語(繁) ハングル	市議会の概要	議) 政策調査課